



かんたんケータイ

取扱説明書

目次
注意事項
ご利用の準備
基本操作
文字入力
電話
電話帳
メール
インターネット
カメラ
auのサービス
便利な機能
機能設定
ファイル管理
データ通信
auのネットワークサービス
付録・索引

ごあいさつ

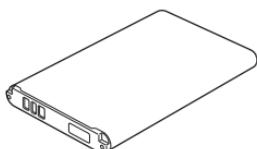
このたびは、「かんたんケータイ」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本製品に付属する「かんたんマニュアル」「取扱説明書」(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

同梱品一覧

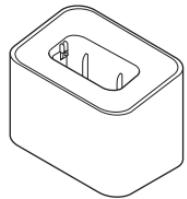
ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



電池パック (KYF36UAA)



卓上ホルダ (KYF36PUA)

- ・取扱説明書(本書)
- ・かんたんマニュアル

以下のものは同梱されていません。

- ・microUSBケーブル
- ・microSDメモリカード
- ・3.5φ-microUSB変換アダプタ
- ・ACアダプタ
- ・イヤホン



memo

- ◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎ 本文中に使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『取扱説明書』『かんたんマニュアル』

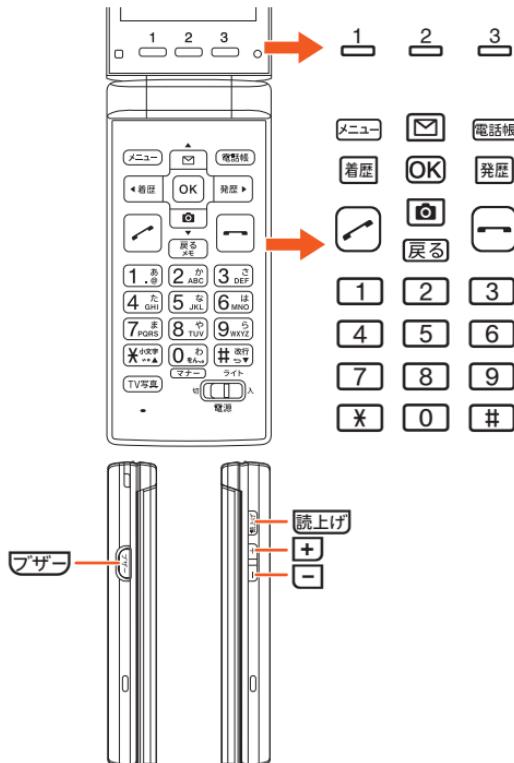
『取扱説明書』(本書)と『かんたんマニュアル』のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
パソコンから:<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、**□**や**◎**、**▲**、**▼**でメニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどを選択して**◎**(OK／選択／設定／決定／確定)を押すまでの操作を、[名称]と省略して表記しています。

例：カメラを使用する場合

1 待受画面で**メニュー**→[カメラを使う・写真を見る]

待受画面で**◎**を押します。続けて[カメラを使う・写真を見る]を**□**(上キー)／**◎**(下キー)で選択して、**◎**で決定する操作を表しています。



◎ キー操作について詳しくは、「基本的なキー操作を覚えよう」(▶P.51)をご参照ください。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書は、au Nano IC Card 04 LEを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

本書に記載されているイラストや画面は、実際の製品や画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面

本書の表記例





memo

- ◎ 本書では、キーや画面、アイコンは本体カラー「ゴールド」のお買い上げ時の表示を例に説明していますが、実際のキーや画面、アイコンとは字体や形状が異なっていたり、一部を省略している場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 画面最下行に表示された内容を~~メニュー~~／OK／~~電話~~を押して実行する場合、~~メニュー~~(戻る)のように括弧内に内容を表記します。
※ただし、~~メニュー~~(メニュー)またはOK(OK)／OK(選択)／OK(設定)／OK(決定)／OK(確定)の場合は、省略して~~メニュー~~またはOKのみ表記しています。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「au Nano IC Card 04 LE」の名称を「au ICカード」と表記しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」「microSDHC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書に表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

こんなときは…

電話機能

折り返し電話をかける
(着信履歴)

▶P.63

電話に出られないとき
(留守電メモ)

▶P.65

連絡先を電話帳に
登録する

▶P.70

着信音などを
鳴らさないようにする
(マナーモード)

▶P.124

スマートソニック
レシーバーについて

▶P.36

音声の聞きやすさを
調整する
(聞こえ調整)

▶P.66

調べる

情報を検索したい
(インターネット)

▶P.93

ニュースや天気予報を
チェックする
(ニュース・天気)

▶P.48

操作方法をケータイで
調べる
(使い方ガイド)

▶P.49

通信料を確認する
(auお客さまサポート)

▶P.104

道順や乗り換えを
確認する
(地図・乗り換え)

▶P.48、107

メール機能

Eメールを送受信する

▶P.74

受け取ったメール
アドレスを登録する

▶P.80

SMSを送受信する

▶P.87

撮影した写真を
Eメールで送る

▶P.78

迷惑メールを
防止したい

▶P.84

映像や音楽を楽しむ

書類を読む

▶P.49

音楽を聴く

▶P.119

自分で撮った写真や
動画を見る
(データフォルダ)

▶P.99

写真をテレビで見る
(テレビde写真)

▶P.108

便利な機能を使う

映像や音を記録する

写真を撮る
(カメラ)

▶P.98

自分の音声を録音する
(音声レコーダー)

▶P.113

検索した情報を
保存する

▶P.94

自分の連絡先を教える
(赤外線送信)

▶P.137

メモをとる

▶P.110

カレンダーを利用する

▶P.111

ビデオを撮る
(カメラ)

▶P.98

通話中の相手の声を
録音する
(通話録音)

▶P.63

データ通信を利用する
(Bluetooth[®]／Wi-Fi[®])

▶P.137、139

目覚まし時計を使う

▶P.112

歩数計を利用する

▶P.118

機能設定の変更

機能設定の方法

▶P.122

待受画面の壁紙を
変える

▶P.122

画面の文字サイズを
変える

▶P.122

着信音を変える

▶P.123

待受画面の表示を
設定する

▶P.122

もしものときに

電話をなくしたときに
備える
(遠隔ロック)

▶P.107

電話の位置を探す
(位置検索サポート)

▶P.107

防水／防塵について

▶P.25

緊急ブザーを利用する
(緊急ブザー)

▶P.115

ロックNo.や
PINコードを変える

▶P.125、127

緊急速報メールに
ついて

▶P.49

目次	33
ご利用の準備	33
ご利用の準備	34
各部の名称と機能	34
スマートソニックレシーバーについて	36
電池パックを取り付ける／取り外す	36
電池パックを取り付ける	36
注意事項	11
注意事項	11
本製品のご利用について	12
安全上のご注意(必ずお守りください)	13
材質一覧	20
取り扱い上のご注意	21
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意	25
ご使用にあたっての注意事項	25
充電のときは	27
水に濡れたときの水抜きについて	27
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について	29
2.4GHz帯ご使用上の注意	29
各種暗証番号／PINコードについて	30
各種暗証番号について	30
PINコードについて	30
データ通信料についてのご注意	31
アプリケーションについて	31
マナーも携帯する	31
ご利用の準備	33
ご利用の準備	33
各部の名称と機能	34
スマートソニックレシーバーについて	36
電池パックを取り付ける／取り外す	36
電池パックを取り付ける	36

電池パックを取り外す	38
au ICカードについて	38
au ICカードを取り付ける／取り外す	39
au ICカードを取り付ける	39
au ICカードを取り外す	40
充電する	41
ACアダプタを使って充電する	42
卓上ホルダ(KYF36PUA)を使って充電する	43
パソコンを使って充電する	44
電源を入れる／切る	44
電源を入れる	44
電源を切る	44
初期設定を行う	44
基本操作	45
基本操作	45
待受画面を利用する	46
本製品の状態を知る	46
アイコンの見かた	46
充電／通知ランプについて	47
サブディスプレイを利用する	47
メインメニューを利用する	48
共通の操作を覚える	51
基本的なキー操作を覚えよう	51
チェックボックスを利用する	52
ポインターを利用する	52
ポインターの操作について	52
文字入力	55
文字入力	55
文字入力の方法	58
入力する文字の種類を変更する	58
ひらがな／漢字／カタカナ／英数字の入力	58
文字の修正	58
予測変換機能	58
絵文字／デコレーション絵文字／顔文字／記号の入力	58
文字入力のメニューを利用する	59

文字をコピーしてから貼り付ける	59
その他の文字入力メニュー	59
電話	61
電話	62
電話をかける	62
電話番号を入力して電話をかける	62
ダイヤル画面のメニューを利用する	63
通話録音を利用する	63
通話中画面のメニューを利用する	63
履歴を利用して電話をかける	63
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)	64
電話を受ける	64
電話に出る	64
着信中のメニューを利用する	65
着信を拒否する	65
私の情報(自分の電話番号)を確認する	65
私の情報を確認する	65
私の情報を編集する	65
通話に関する設定をする	66
通話設定メニューを表示する	66
留守電メモを再生する	67
通話録音を再生する	67
着信拒否の設定をする	67
通話サービスを設定する	68
電話帳	69
電話帳	70
電話帳に登録する	70
グループを設定する	70
電話帳の一覧を利用する	71
電話帳一覧画面を表示する	71
電話帳一覧画面のメニューを利用する	71
電話帳の登録内容を利用する	72

メール	73
メールについて	74
Eメール	74
Eメールを確認する	75
Eメールを送信する	77
宛先を追加・削除する	78
Eメールにデータを添付する	78
Eメールを受信する	79
添付データを受信・再生する	79
添付画像を保存する	80
差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URLを利用する	80
新着メールを問い合わせて受信する	81
Eメールを検索する	81
Eメールのメニューを利用する	81
フォルダ一覧画面のメニューを利用する	81
Eメール一覧画面のメニューを利用する	82
Eメールを設定する	82
Eメール設定をする	82
通知に関する設定をする	83
Eメールアドレスを変更する	83
転送先を設定する	84
迷惑メールフィルターを設定する	84
SMS(Cメール)	87
SMSを送信する	87
SMSを受信する	88
SMSを返信／転送する	88
電話番号／メールアドレス／URLを利用する	88
SMSを保護／保護解除する	89
SMSの電話番号を電話帳に登録する	89
SMSを検索する	89
SMSを削除する	89
SMSを設定する	89
SMS設定をする	89
受信フィルターを設定する	90

インターネット	91
インターネット接続	92
インターネットに接続する	92
データ通信を利用する	92
ブラウザ	92
インターネットメニューを利用する	92
ブラウザ画面のメニューを利用する	94
ポインターで操作する	94
カメラ	95
カメラ	96
カメラを利用する	96
カメラをご利用になる前に	96
撮影画面の見かた	97
撮影前の設定をする	97
写真／ビデオを撮影する	98
拡大鏡を利用する	98
バーコードリーダーを利用する	99
写真やビデオを利用する	99
保存されているデータを確認する	99
データを管理する	100
データを他の機能に登録する	101
データを送信する	101
データをコピーする	101
データの詳細情報を表示する	102
auのサービスを利用する	103
auのサービス	104
My au(<i>auお客様サポート</i>)	104
auスマートサポート	104
auスマートサポートでできること	104
遠隔操作サポートを利用する	104
あんしんフィルター for au	105
管理者情報を登録する	106
管理者ページを利用する	106

auスマートバスを利用する	106
データお預かりを利用する	107
auナビウォークを利用する	107
位置検索サポート	107
テレビde写真	108
便利な機能	109
便利な機能	110
簡易ライトを利用する	110
スクリーンショットを撮影する	110
メモ帳を利用する	110
メモ帳を登録する	110
メモ帳を確認する／編集する	110
カレンダーを利用する	111
カレンダーを表示する	111
予定を新規登録する	111
カレンダー画面のメニューを利用する	111
目覚まし時計を利用する	112
目覚まし時計のメニューを利用する	112
電卓で計算する	112
音声レコーダーを利用する	113
音声レコーダーで録音する	113
録音の設定をする	113
録音したデータを再生する	113
漢字チェックを利用する	113
音声読み上げを利用する	114
音声読み上げを設定する	114
緊急ブザーを利用する	115
ワンタッチキーを利用する	116
ワンタッチキーに相手を登録する	116
ワンタッチキーに登録した相手に連絡する	117
ワンタッチ機能を登録する	117
登録したワンタッチ機能を起動する	117
ワンタッチキーに登録した相手やワンタッチ機能を変更する	117
活動状況通知を設定する	118
歩数計を利用する	118
利用設定をする	118
歩数計を利用する	118

歩数や日々の記録を見る.....	118
歩数計の記録と設定を削除する.....	119
東海道五十三次を利用する.....	119
音楽を聴く.....	119
LINEを利用する.....	119

機能設定 121

機能設定.....	122
設定メニューを表示する.....	122
au IDの設定をする.....	122
画面の設定をする.....	122
音・バイブ・ランプの設定をする.....	123
マナーモードを設定する.....	124
ロックの設定を行う.....	125
データ通信の設定をする.....	125
機内モードを設定する.....	126
便利機能を設定する.....	126
エコモードを利用する.....	126
サイドキーを無効にする.....	126
端末を初期化する.....	127
その他の設定をする.....	127
SIMカードロックを設定する.....	127
位置情報の設定をする.....	127
日付と時刻の設定をする.....	128
端末の情報を表示する.....	128

ファイル管理 129

ファイル管理.....	130
本製品の保存領域について.....	130
microSDメモリカードを利用する.....	130
microSDメモリカードについて.....	130
microSDメモリカードを取り付ける.....	131
microSDメモリカードを取り外す.....	132
microUSBケーブルでパソコンと接続する.....	133
ストレージに関する設定をする.....	133
ストレージの設定をする.....	133
microSDメモリカードをフォーマットする.....	134

データ通信 135

赤外線通信.....	136
赤外線の利用について.....	136
赤外線でデータを受信する.....	136
赤外線でデータを送信する.....	137
各機能のメニューから赤外線で送信する.....	137
Bluetooth [®] 機能.....	137
Bluetooth [®] 機能の利用について.....	137
Bluetooth [®] を利用する.....	137
Bluetooth [®] を起動する.....	137
Bluetooth [®] 機器と接続する.....	138
Bluetooth [®] でデータを送受信する.....	138
Bluetooth [®] でデータを受信する.....	138
Bluetooth [®] でデータを送信する.....	138
無線LAN(Wi-Fi [®])機能.....	139
無線LAN(Wi-Fi [®])機能について.....	139
無線LAN(Wi-Fi [®])機能を利用する.....	139
無線LAN(Wi-Fi [®])機能をONにする.....	139
Wi-Fi [®] ネットワークに接続する.....	139
アクセスポイントとの接続を切る.....	140
Wi-Fi [®] 設定画面のメニューを利用する.....	140
Wi-Fi [®] 設定機能を設定する.....	140

auのネットワークサービス 141

auのネットワークサービス.....	142
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス).....	142
着信転送サービスを利用する(標準サービス).....	142
応答できない電話を転送する(無応答転送).....	143
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送).....	143
応答できない電話を転送する(圏外転送).....	143
手動で転送する(選択転送).....	144
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送).....	144
着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス).....	144
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス).....	145
電話番号を通知する.....	145
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス).....	146

番号通知リクエストサービスを開始する.....	146	電話を受ける.....	165
番号通知リクエストサービスを停止する.....	146	主な仕様.....	165
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス).....	146	携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	166
お留守番サービス総合案内(141)を利用する.....	147	知的財産権について	167
応答できない電話を転送する(無応答転送).....	147	OpenSSL License	170
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送).....	148	索引.....	171
応答できない電話を転送する(圏外転送).....	148		
手動で転送する(選択転送).....	148		
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送).....	148		
電話をかけてきた方が伝言を録音する	149		
ボイスメールを録音する.....	149		
伝言お知らせについて	149		
伝言・ボイスメールを聞く.....	149		
応答メッセージの録音／確認／変更をする.....	150		
伝言の蓄積を停止する(不在通知).....	150		
伝言の蓄積停止解除する.....	151		
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス).....	151		
英語ガイドスへ切り替える.....	151		
日本語ガイドスへ切り替える.....	152		
三者通話サービスを利用する(オプションサービス).....	152		
割込通話サービスを利用する(オプションサービス).....	152		
割込通話サービスを開始する.....	153		
割込通話サービスを停止する.....	153		
割込通話を受ける	153		
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス).....	154		
撃退する電話番号を登録する.....	154		
登録した電話番号を全件削除する	154		
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス).....	155		
付録・索引	157		
付録.....	158		
ソフトウェアを更新する.....	158		
ソフトウェアをダウンロードして更新する.....	158		
故障とお考えになる前に.....	158		
アフターサービスについて.....	160		
SIMロック解除.....	163		
周辺機器.....	163		
microUSBイヤホンを使用する.....	164		

注意事項

注意事項	12
本製品のご利用について	12
安全上のご注意(必ずお守りください)	13
材質一覧	20
取り扱い上のご注意	21
防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意	25
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について	29
各種暗証番号／PINコードについて	30
データ通信料についてのご注意	31
アプリケーションについて	31
マナーも携帯する	31

注意事項

本製品のご利用について

- ・本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。
- ・故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。
または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。
<https://www.au.com/trouble-check/>
- ・サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください（ただし、LTE方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えています）。
- ・日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- ・本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出しての使用はできません。
(This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
- ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- ・「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- ・本製品の使用または使用不能から生ずる附隨的な損害（記録内容の変化・消失・事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがあります、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- ・本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。

- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

製造元:京セラ株式会社



- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※ ¹ を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※ ¹ を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※ ² を負う可能性が想定される場合および物的損害※ ³ の発生が想定される」内容です。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないと)を示す記号です。		分解してはいけないとを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないとを示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないとを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

!**危険**

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

-  砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 防水・防塵性能については以下をご参照ください。
- ▶P.25「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」
-
-  水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 防水性能については以下をご参照ください。
- ▶P.25「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」
-
-  本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ※ご注意いただきたい例
- ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
 - ・上着のポケットに入れた状態で、扇や自動車のドアに挟む
 - ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
-
-  分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-
-  水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 防水性能については以下をご参照ください。
- ▶P.25「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」
-
-  充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 防水性能については以下をご参照ください。
- ▶P.25「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」

 オプション品は、auが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告

-  落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-
-  充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-
-  使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。
-
-  所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。
-
-  ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
-
-  使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
- ・電源プラグをコンセントから抜く。
 - ・本製品の電源を切る。
 - ・電池パックを本製品から取り外す。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

-  破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。
-  湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶ P.25「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」
-  子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。
-  乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。
-  本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や電池パック・指定の充電用機器(別売)の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触るとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険

-  火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  銃(銳利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  本製品内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

-  赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。
-  赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。
-  撮影ライト／簡易ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
-  自動車などの運転者に向けて撮影ライト／簡易ライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。
-  点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

! 本製品内のau ICカードスロットやmicroSDメモリカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、au ICカードやmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

! カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

! ブザーを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。
難聴など耳への障害の原因となります。

! 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

! 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

! ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音がおきます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

! 心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

! 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

! 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

! ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触ると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

- 🚫** ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。
- 🚫** ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
- 🚫** 背面カバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。
背面カバーが破損し、けがなどの原因となります。
- 🚫** 背面カバーを取り付けるときは、指などの体の一部を挟まないでください。
けがなどの原因となります。
- 🚫** 背面カバーを外したまま使用しないでください。
やけど、けが、感電などの原因となります。
- !** 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

! 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.20「材質一覧」

- !** 本製品を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。
すき間に挟まると、けがなどの原因となります。
- !** 本製品のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。
- !** ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 電池パックについて

- ### ⚠ 危険
- 🚫** 金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
 - 🚫** 電池パックを本製品にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックを本製品からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付け方、取り外し方については以下をご参照ください。
▶P.36「電池パックを取り付ける」
▶P.38「電池パックを取り外す」

-  火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  電池パックを取り付けるときは、電池パックの向きを確かめてください。
誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
電池パックの取り付け方については以下をご参照ください。
▶P.36「電池パックを取り付ける」

-  電池パック内部の物質などが目の中に入った場合は、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
電池パック内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

-  異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
-  電池パック内部の物質などが漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。
-  ペットなどが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

-  電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。
-  一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからauショップなど窓口にお持ちいただかく、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。
-  濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

■ 充電用機器について

-  指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  指定の充電用機器(別売)や卓上ホルダ(KYF36PUA)は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
-  雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。

 コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

 指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

 コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

 指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

 本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダ(KYF36PUA)に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

 指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

 指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

 電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

 本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。

 お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

!**注意**

 コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ au ICカードについて

⚠ 注意

- !** au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告

- !** 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
- !** 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

- !** 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(KEYケース、LCDフロントケース)	PA+GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(LCDリアケース)	アルミ	アルマイト処理
赤外線ポート窓部、撮影ライト／簡易ライト窓部、ワントッチキー	PMMA樹脂	－
外装ケース(ヒンジカバー)、背面カバー、電話帳キー、カメラキー、センターキー、メールキー、メニューキー、発信キー、戻る／メモキー、終話キー、ダイヤルキー、着信履歴／左キー、発信履歴／右キー、テレビde写真キー、サイドキー(読み上げキー、+キー、-キー、ブザーキー)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
キーシート	PET樹脂	UV硬化性処理
電源スイッチノブ、充電／通知ランプ部	PC樹脂	－
ウインドウパネル部(メイン)	PMMA樹脂	ハードコート処理

使用箇所	使用材質	表面処理
ウインドウパネル部(サブ)	ガラス	フィルム処理
カメラプレート	PMMA+PC樹脂	ハードコート処理
クッション(ダイヤルキー下部)	UV硬化性樹脂	—
充電端子	亜鉛合金	金メッキ処理(Cu, Ni, Ni+Pd下地)

■ 電池パック(KYF36UAA)

使用箇所	使用材質	表面処理
外装	PC樹脂	—
シール	PET(基材)+PP(表面)	—
端子	銅	金メッキ処理(下地Niメッキ)

■ 鉄上ホルダ(KYF36PUA)

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース	ABS樹脂	—
レバー、ノブ	POM樹脂	—
充電端子	りん青銅	金メッキ処理(下地Niメッキ)
ゴム脚	ウレタンフォーム	—

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。

よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、背面カバー、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかかるないように使用してください。多くのものが詰まつた荷物の中に入れたり、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座つたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

● 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、背面カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。

ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、電池パックや指定の充電用機器(別売)、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたまでの背面カバーの取り付け／取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。

● 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。

(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)

- 充電用機器
- 周辺機器

● 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。

(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)

- 本製品本体
- 電池パック・au ICカード(本製品本体装着状態)

● ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。

- 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(ぬがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないとください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
- 本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク◎」が本製品本体内で確認できるようになっております。
- 待受画面で[≡]→[設定を行う]→[その他の設定を行う]→[端末の情報を表示する]→[認証情報]
- 本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出入口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 通話中、送話口（マイク）を指などで覆わないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。

- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
 - 背面カバーを外したまま使用しないでください。また、放置・保管しないでください。内部にはこりなどの異物が入ると故障の原因となります。
 - 本製品内のau ICカードスロットやmicroSDメモリカードスロットに液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
 - 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
 - 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口（マイク）、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。
- ### ■電池パックについて
-  **(本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。)**
- 電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
 - 長時間使用しない場合は、本体から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
 - 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
 - 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

- 破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
- 電池パックを水などで濡らさないでください。電池パックが濡ると故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

■充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけてください。また、指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器(別売)やmicroUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
- 卓上ホルダ(KYF36PUA)を自動車内で使用しないでください。落下、運転の妨げにより事故の原因となります。卓上ホルダ(KYF36PUA)は室内の安定した場所での使用を前提とします。
- 卓上ホルダ(KYF36PUA)は無償修理保証の対象外です。

■au ICカードについて

- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、発布、公衆送信、改変などはできません。
- 他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをする肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用をお控えください。
- なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した写真などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

本製品は背面カバーが完全に装着された状態で保護等級(JIS C 0920)のIPX5相当^{※1}、IPX8相当^{※2}の防水性能およびIP5X^{※3}相当の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。また、MIL規格準拠^{※4}の耐衝撃性能を実現しております(当社試験方法による)。

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。(塵埃(じんあい)の侵入を完全に防止するわけではありません。)

※4 アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.7-Shockに準拠した落下試験(高さ1.22mから本製品を26方向で落下させる)を実施しています。

日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくとも落下衝撃にて傷などが発生します。

すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- 背面カバーは完全に装着した状態にしてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態での背面カバーの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、ヒンジ部などから本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るものそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口(マイク)に水がたまり、一時的に音が伝わりにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。

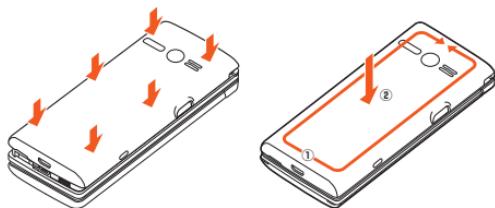
■ 背面カバーについて

- 背面カバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 背面カバーを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 背面カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

背面カバーの取り付けかた

背面カバーと本体を合わせるように置き、背面カバーを取り付けます。

取り付け後、背面カバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかりと押さえ、完全に装着させます。



■ 水以外が付着した場合

- 万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーにより約10cm離れた位置で常温(5°C~35°C)の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、背面カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

■ 水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、背面カバーを外さないで、本体、背面カバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

■ ゴムパッキンについて

- 背面カバーを開けたときの本体側のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- 背面カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付け、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- 背面カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 耐熱性について

- 热湯に浸けたり、热湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

■ 衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりますが、日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。

充電のときは

付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

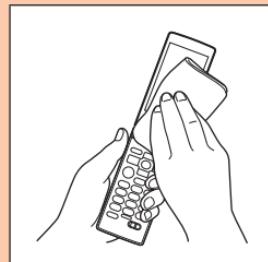
- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダ(KYF36PUA)に差し込んでください。
- 濡れた手で指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダ(KYF36PUA)に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダ(KYF36PUA)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。
- 外部接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。

水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、必ず送話口(マイク)、スピーカー、ヒンジ部、充電端子部、外部接続端子部の水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

下記手順で水抜きを行ってください。

- 1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。**

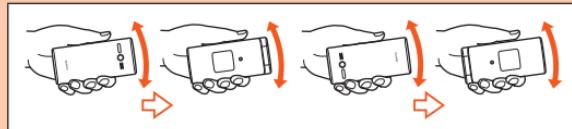


振りかたについて

- ①本製品をしっかりと持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印の方向に振ります。

※振る際は周りに危険がないことを確認してください。

※本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

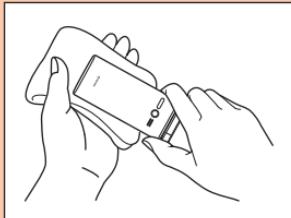


- ②出てきた水分を拭き取ります。

※送話口(マイク)、スピーカー、充電端子部は特に水が抜けにくいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。

- ③乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

- 3** 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、送話口(マイク)・スピーカー・ヒンジ部・充電端子・外部接続端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。



- 4** 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののはばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

- ・本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。
- 1.本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていることを確認してください。

2.万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

3.ご不明な点やその他のお困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客様センターまでご連絡ください。

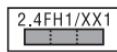


memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行なう際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth[®]機能および無線LAN(Wi-Fi[®])機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth[®]機能: 2.4FH1/XX1



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

- 無線LAN(Wi-Fi[®])機能: 2.4DS4/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

- 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- ・お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力要否は入力が必要な設定に変更できます。
- ・入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上ご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- ・PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- ・PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- ・PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- ・PINコードはデータの初期化を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- ・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ・本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどの利用、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※無線LAN(Wi-Fi[®])接続の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- ・本製品ではGoogle Play[™]やEZwebのご利用はできません。
- ・本製品に搭載されているアプリはアプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■こんな場所では、使用禁止！

- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■周りの人への配慮も大切

- ・映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- ・街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- ・携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- ・新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- ・通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- ・電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- ・携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- ・カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- ・満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- ・病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

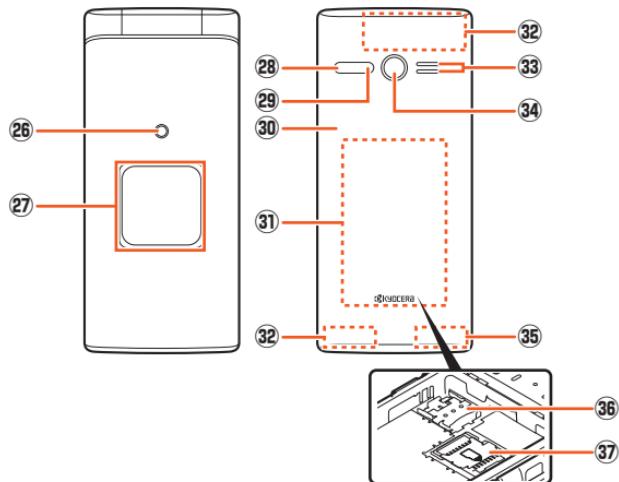
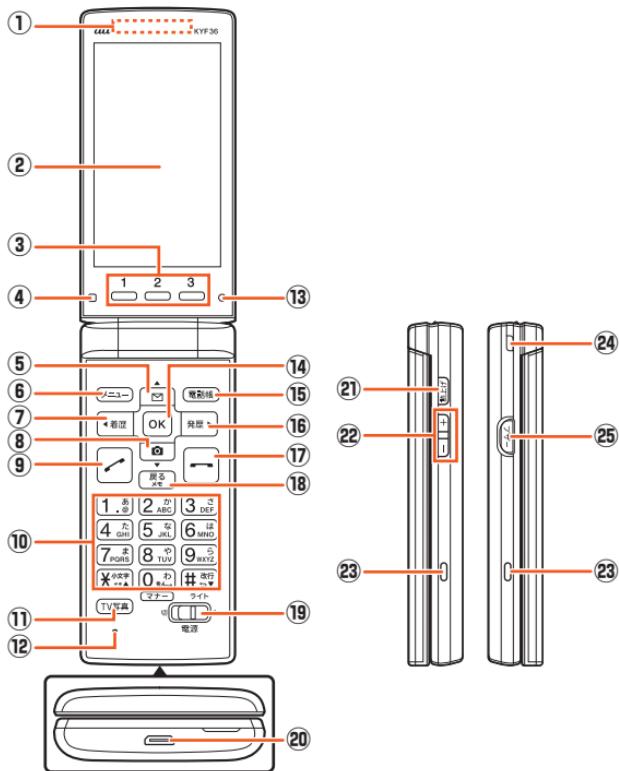
ご利用の準備

ご利用の準備	34
各部の名称と機能.....	34
電池パックを取り付ける／取り外す.....	36
au ICカードについて	38
au ICカードを取り付ける／取り外す	39
充電する	41
電源を入れる／切る.....	44
初期設定を行う	44

ご利用の準備

各部の名称と機能

ご利用の準備



①受話部(レシーバー)

スマートソニックレシーバー(▶P.36)で通話中の相手の方の声、留守電メモの再生音などが聞こえます。

②ディスプレイ(メインディスプレイ)

③ 1 ~ 3 ワンタッチキー1~3

ワンタッチキーに登録した相手に電話をかけるときや、登録したワンタッチ機能を起動するときに使用します。

④光センサー

「明るさのレベル」を「自動調整」に設定時に明るさを感じします。

⑤^回メール／上キー

⑥^回メニューキー

⑦^回着信履歴／左キー

⑧^回カメラ／下キー

⑨^回発信キー

⑩^回～^回、^回、^回ダイヤルキー

⑪^回テレビde写真キー

「テレビde写真」(▶P.108)を利用できます。

⑫送話口(マイク)

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。使用中はマイクを指などで覆わないようにご注意ください。

⑬エアベント

本製品は防水／防塵仕様のため、本体の密閉度が高くなっています。そのため、エアベント(空気抜き用の穴)を設けています。

- ・エアベントは防水／防塵性能に影響を与えません。
- ・保護シートやシールでエアベントをふさがないでください。

⑭^回センターキー

⑮^{電話機}電話帳キー

⑯^回発信履歴／右キー

⑰^回終話キー

通話や各機能を終了します。

⑱^回戻る／メモキー

⑲電源スイッチ

電源の入／切に使用します。

- ・電源を「切」にしている場合でも、目覚まし時計(▶P.112)で自動的に電源を入れる設定にしている場合は、設定時刻になると電源が入ります。

⑳外部接続端子

共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)などの接続時に使用します。

㉑^回読み上げキー

表示内容を音声でお知らせします。

㉒^回／^回音量上／下キー

㉓充電端子

卓上ホルダ(KYF36PUA)を使用して充電するときの端子です。

㉔ストラップ取り付け部

㉕^回緊急ブザーキー

長く(2秒以上)押すと、緊急ブザーが鳴ります。

㉖充電／通知ランプ

充電中は赤色で点灯します。

着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。

位置検索サポート(▶P.107)が位置情報を測位中は黄色で点滅します。

㉗サブディスプレイ

着信時、メール受信時、目覚まし音鳴動時などに情報を表示してお知らせします。

㉘赤外線ポート

赤外線通信で、データの送受信を行います。

㉙撮影ライト／簡易ライト

撮影ライト／簡易ライト使用時に明るく点灯します。

㉚背面カバー

㉛電池パック

㉜内蔵GPS／Wi-Fi[®]／Bluetooth[®]アンテナ部*

㉝スピーカー

着信音や目覚まし音などが聞こえます。

㉞カメラ(レンズ部)

㉟内蔵サブアンテナ部*

㉟au ICカードスロット

㉞microSDメモリカードスロット

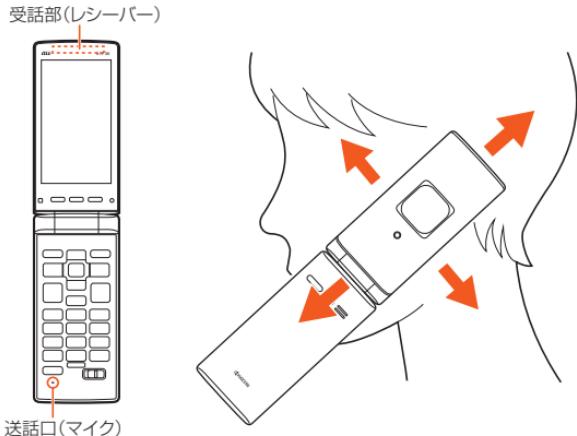
* アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部(レシーバー)に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部(レシーバー)付近を耳に当て、耳を覆うことで周囲の騒音を遮へいし、音声がより聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。



memo

- ◎通話時に本製品の送話口(マイク)を指などでふさがないようにご注意ください。
- ◎イヤホンなどを接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
- ◎ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
- ◎聞き取りやすさには個人差があります。
- ◎周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

電池パックを取り付ける／取り外す

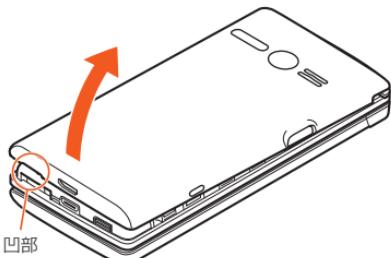
電池パックの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

- ・本製品専用の電池パックをご利用ください。

電池パックを取り付ける

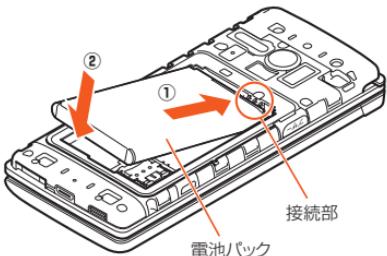
①本体裏面の背面カバーを取り外す

背面カバーの凹部に指先(爪など)をかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外します。



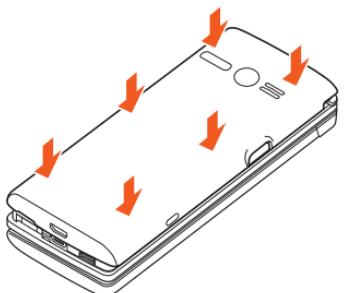
2 電池パックを取り付ける

接続部の位置を確かめて、電池パックをスライドさせて確実に押し込んでください。



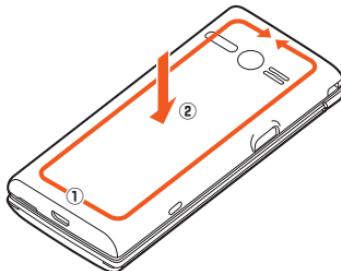
3 背面カバーを取り付ける

背面カバーと本体を合わせるように置き、背面カバーを取り付けます。



4 背面カバー全体に浮きがないようにしっかりと押さえる

背面カバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかりと押さえ、完全に装着させます。



◎ au ICカード、microSDメモリカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。

◎ 防水性能を保つために、背面カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。

◎ 間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび背面カバー破損の原因となります。

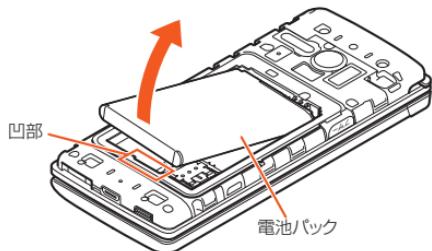
電池パックを取り外す

1 本体裏面の背面カバーを取り外す

(►P.36「電池パックを取り付ける」)

2 電池パックを取り外す

本体の凹部から指先(爪など)を電池パックにひっかけて、矢印の方向に持ち上げて取り外してください。



3 背面カバーを取り付ける

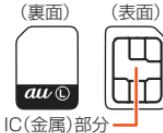
(►P.36「電池パックを取り付ける」)

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

本製品はau Nano IC Card 04 LEに対応しております。

au Nano IC Card 04 LE



◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のこと にご注意ください。

- au ICカードのIC(金属)部分や、本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場 合はエラーメッセージが表示されます。

◎取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

◎変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原 因となります。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに「」が表示されます。

- ・電話をかける*/受ける
- ・SMSの送受信
- ・Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
- ・PINコード設定
- ・本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※ 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

■ PINコードによる制限設定

au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます(▶P.30「PINコードについて」)。

au ICカードを取り付ける／取り外す

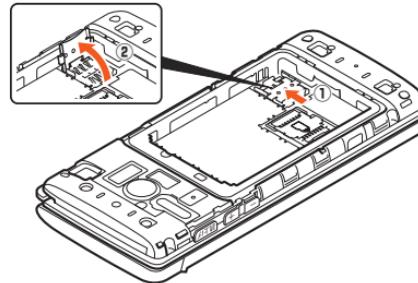
au ICカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

■ au ICカードを取り付ける

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す
(▶P.38「電池パックを取り外す」)

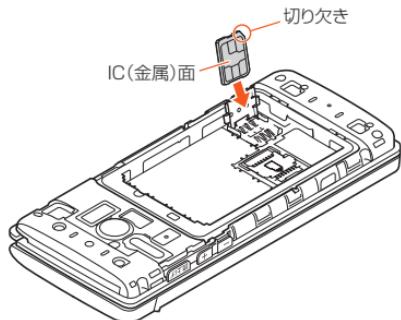
2 au ICカードスロットカバーを指の腹で①の方向にスライドさせて、②の方向に持ち上げる

カバーを持ち上げる際は、本製品の金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、カバーをスライドする際に、強い力をかけないようにご注意ください(カバーが破損したり手や指を傷つけるおそれがあります)。



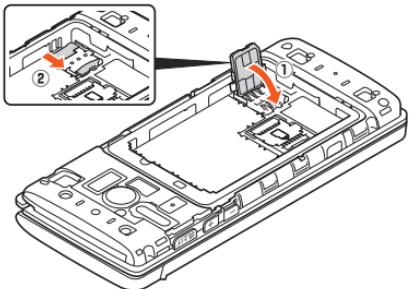
3 au ICカードを矢印の方向にスライドさせ、au ICカードスロットカバーに取り付ける

切り欠きの位置とIC(金属)面の向きに注意してください。



4 au ICカードスロットカバーを①の方向に倒し、指の腹で②の方向にカチッと音がするまでスライドしてロックする

カバーがうまく閉じない場合は、いったんカバーを持ち上げて、au ICカードが正しく奥まで差し込まれているかを確認してください。



5 電池パック・背面カバーを取り付ける

(▶P.36「電池パックを取り付ける」)

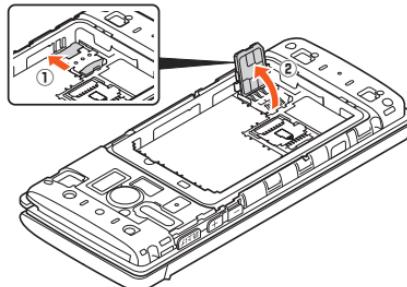
I au ICカードを取り外す

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

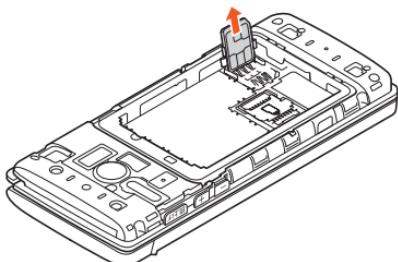
(▶P.38「電池パックを取り外す」)

2 au ICカードスロットカバーを指の腹で①の方向にスライドさせて、②の方向に持ち上げる

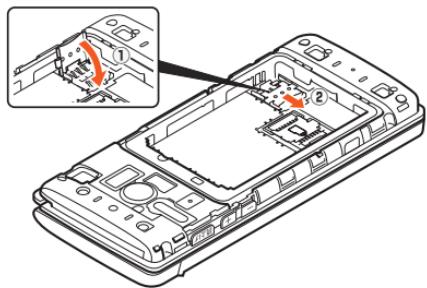
カバーを持ち上げる際は、本製品の金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、カバーをスライドする際に、強い力をかけないようにご注意ください(カバーが破損したり手や指を傷つけるおそれがあります)。



3 au ICカードを矢印の方向にスライドさせ、au ICカードを取り外す



4 au ICカードスロットカバーを①の方向に倒し、指の腹で②の方向にカチッと音がするまでスライドしてロックする



5 電池パック・背面カバーを取り付ける

(►P.36「電池パックを取り付ける」)

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 充電中は充電／通知ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると、充電／通知ランプが消灯します。

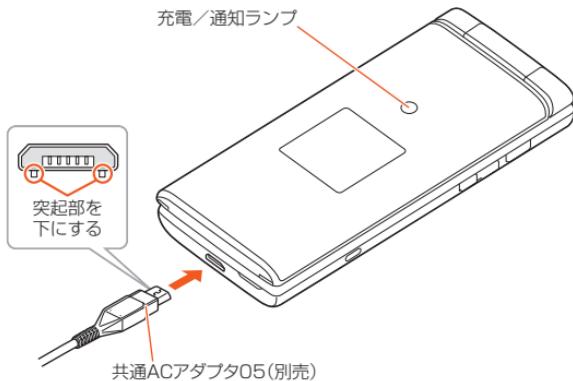


- 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があり、電池のもちが悪くなります。
- 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- 本製品の充電／通知ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 充電端子は、ときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると正常に充電されない場合があります。
- 充電中、充電／通知ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、「□」が表示されても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。
- 外部接続端子に金属製のアクセサリーや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

ACアダプタを使って充電する

共通ACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.163)をご参照ください。

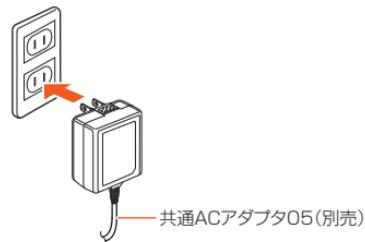
1 共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む



2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む

本製品の充電／通知ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「」が表示されます。

充電が完了すると、充電／通知ランプが消灯します。



3 充電が完了したら、外部接続端子から共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

4 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く



memo

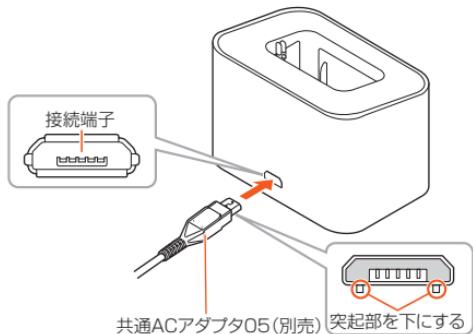
- ◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／通知ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

卓上ホルダ(KYF36PUA)を使って充電する

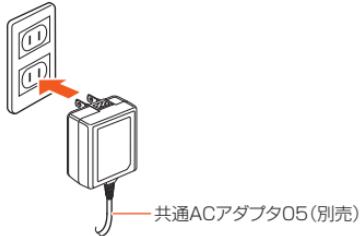
付属の卓上ホルダ(KYF36PUA)と共にACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定の充電用機器(別売)について
は、「周辺機器」(▶P.163)をご参照ください。

1 卓上ホルダ(KYF36PUA)の接続端子に共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグを差し込む

microUSBプラグの向きを確認して、矢印の方向にまっすぐに差し込んでください。

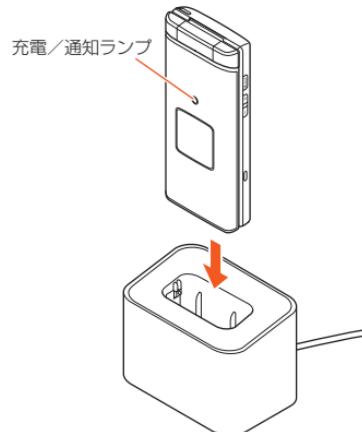


2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む



3 本製品を閉じた状態で卓上ホルダ(KYF36PUA)に取り付ける

本製品の充電／通知ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
充電が完了すると、充電／通知ランプが消灯します。



4 充電が完了したら、本製品を卓上ホルダ(KYF36PUA)から取り外す

5 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)をパソコンのUSBポートに接続する**
- 2 microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む**

本製品の充電／通知ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「」が表示されます。

充電が完了すると、充電／通知ランプが消灯します。

- ・パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



memo

- 電池が切れた状態で充電すると、充電／通知ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は開始しています。
- 指定のACアダプタでの充電と比べて時間が長くかかることがあります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1 電源スイッチを「入」方向にスライドする**

・初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されます。画面に従って操作してください。

memo

○電源を入れたとき、au ICカードを読み込むため、待受画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。この間、キーが効かなくなることがあります。故障ではありません。

○電池切れなどで、電源スイッチが「入」方向のままでも、電源が切れている場合があります。このとき電源を入れるには、一度電源スイッチを「切」方向にスライドしてから「入」方向にスライドしてください。

電源を切る

- 1 電源スイッチを「切」方向にスライドする**

memo

○目覚まし時計などで、電源スイッチは「切」方向のままで、電源が入った状態になる場合があります。このとき電源を切るには、一度電源スイッチを「入」方向にスライドしてから「切」方向にスライドしてください。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示され、au IDの設定ができます。

詳しくは、同梱の『かんたんマニュアル』をご参照ください。

基本操作

基本操作	46
待受画面を利用する.....	46
本製品の状態を知る.....	46
サブディスプレイを利用する	47
メインメニューを利用する	48
共通の操作を覚える.....	51
ポインターを利用する.....	52

基本操作

待受画面を利用する

待受画面では、本製品の状態を確認できます。

■待受画面の見かた



①ステータスバー

ステータスアイコン(▶P.46)が表示されます。

②時計表示

サイズを変更したり、非表示にすることもできます。

③歩数計表示

歩数計(▶P.118)を利用している場合に、歩数が表示されます。

④ワンタッチキー表示

ワンタッチキーに登録した相手や機能を表示できます。

⑤ステータスアイコン

一部のステータスアイコンは画面下部に表示されます。



⑥お知らせメニュー

不在着信通知や未読のEメール/SMSなどのお知らせが表示されます。

お知らせを選んで□を押すと、お知らせの内容が表示されます。

・□または□を押すと、お知らせメニューが非表示になります。

お知らせメニューを再度表示させるには□を押します。また、画面の点灯時間が経過したり本製品を閉じたりして画面が消灯してから、再度画面を点灯させた場合もお知らせメニューが表示されます。

本製品の状態を知る

■アイコンの見かた

ステータスバーには本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■主なステータスアイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
■ ■ ■	電池レベル状態 ■ 100% / □ 残量なし / □ 充電中
■ ■ ■	電波の強さ(受信電界) ■ : 強 / □ : 微弱 / ■ : 圏外 / ■ : 通信中 ・ネットワークを示すアイコンが表示されます。 ■ : 4G(LTE)使用可能
■	機内モード設定中
■	au ICカード未挿入
○	目覚まし時計の設定あり
■ ■ ■	マナーモード状態 ■ : マナーモード ■ : サイレントモード ■ : ドライブモード
■	ハンズフリーで通話中

アイコン	概要
■	着信音の音量を「0」に設定中
■	留守電メモ設定中 ■: 留守電メモ設定中／■: 留守電メモ全件録音済み
■	音声読み上げを利用可能 ■: 手動読み上げ／■: 自動読み上げ
■ ■	ポインター対応の機能／アプリ起動中 ■: ポインターOFF ■: ポインターON
■	位置情報測位中
■ ~ ■	Wi-Fi®の電波の強さ ■ ~ ■: レベル表示 ■: 通信中
※ ※	Bluetooth®利用中 ※: 待機中 ※: 接続中

充電／通知ランプについて

充電／通知ランプの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
赤の点滅	新着メール※1があることや、充電異常※2を示します。
黄の点滅	位置検索サポートが位置情報の測位中であることを示します。
青の点滅	着信時※1、不在着信、新着SMSがあることを示します。

※1 お買い上げ時の設定です。「音・バイブ・ランプの設定をする」(▶P.123)でLEDの設定を変更できます。

※2 電池容量不足による電源投入不可や、充電異常を示します。

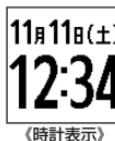
サブディスプレイを利用する

サブディスプレイは、マナーモードや電池残量などの本製品の状態、日付・時間、着信相手などの情報を表示してお知らせします。

本製品を閉じているときに[上上げ]を押したり、本製品を閉じたときなどにサブディスプレイの照明が点灯します。

■ サブディスプレイの見かた

サブディスプレイの照明が点灯しているときに■/□を押すと、画面が切り替わります。



《歩数・アイコン表示》

《歩数詳細表示》

■ 主なアイコン

サブディスプレイの照明が点灯しているときに表示されます。

アイコン	概要
■ ■ ■ × ✕	電波の強さ(受信電界) ■: 強／■: 中／■: 弱／■: 微弱／ ✕: 圏外／ ✕: 機内モード設定中
■ □ ✕	電池レベル状態 ■: 100%／□: 残量なし／ ✕: 充電中
⌚ 🚗 ⚡	マナーモード状態 ⌚: マナーモード／🚗: ドライブモード／⚡: サイレントモード
■	留守電メモ設定中
⌚	目覚まし時計の設定あり
🏃	歩数計利用中

メインメニューを利用する

1 待受画面でメニュー

メインメニューが表示されます。

- 待受画面で OK を押してもメインメニューを表示させることができます。

2 メニューを選択→ OK

メニューはダイヤルキー(①～⑨、⑩、⑪)に対応しており、各キーを押してメニューを選択することもできます。

■ メインメニュー一覧

①電話を使う	①発信した履歴を見る	発信の履歴画面を閲覧できます。(▶P.63)
	②着信した履歴を見る	着信の履歴画面を閲覧できます。(▶P.63)
	③電話帳を使う	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.69)
	④留守電メモを聞く	留守電メモを再生します。(▶P.67)
	⑤通話録音を聞く	通話中に録音した相手と自分の音声を聞けます。(▶P.67)
②メールを使う	①メールを使う	Eメール(@ezweb.ne.jp)のメールアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.74)
	②SMSを使う	電話番号を宛先としてSMSの送受信ができます。(▶P.87)

③カメラを使う・写真を見る	①写真を撮る・見る	写真を撮影したり、見たりすることができます。(▶P.98、P.99)
	②ビデオを撮る・見る	動画を撮影したり、見たりすることができます。(▶P.98、P.99)
	③拡大鏡を使う	拡大鏡を利用できます。(▶P.98)
	④バーコードを読み取る	バーコードリーダーを利用できます。(▶P.99)
④ニュース・天気・乗換を見る※1	①auトップを見る	「au Webポータル」のページを表示します。
	②ニュースを読む	最新のニュースを確認できます。
	③天気を調べる	天気予報を確認できます。
	④乗り換えを調べる	auナビウォークの「乗換案内」を利用できます。(▶P.107)
	⑤地図を見る	auナビウォークの「地図」を利用できます。(▶P.107)

⑤便利な機能を使う	①電卓を使う	電卓を利用できます。(▶P.112)
	②目覚まし時計を使う	目覚まし時計を利用できます。(▶P.112)
	③カレンダーを使う	カレンダーを利用できます。(▶P.111)
	④辞書を使う	辞書を利用できます。
	⑤メモを使う	メモ帳を利用できます。(▶P.110)
	⑥音声レコーダーを使う	音声レコーダーを利用できます。(▶P.113)
	⑦赤外線を使う	本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。(▶P.136)
	⑧ライトを使う	簡易ライトを利用できます。(▶P.110)
	⑨漢字チェックを使う	漢字チェックを利用できます。(▶P.113)
	⑩音楽を聞く	音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。(▶P.119)
	⑪書類を読む	本体またはmicroSDメモリカードに保存されたドキュメントファイルを閲覧できます。
	⑫使い方ガイドを見る	本製品の使いかたを確認できます。
	⑥LINEを使う※1	LINEはいつでも、どこでも、好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。(▶P.119)
	⑦インターネットを利用する※1	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。(▶P.92) ブラウザはポインター対応アプリです。
	⑧auのサービスを利用する※2	①auスマートパスを使う 「auスマートパスプレミアム」／「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなケータイライフを提供します。(▶P.106)
	②au WALLETを使う	au WALLETプリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au WALLETクレジットカードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。
	③My auを使う	auのご利用料金、データ通信量、ご契約内容、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。(▶P.104)
	④au災害対策を使う	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用できます。
	⑤auナビウォークを使う	auナビウォークを利用できます。(▶P.107)
	⑥ウイルスバスターfor auを使う	ウイルス感染を防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリです。

[8]auのサービスを利用する※2	[7]どこから電話for auを使う	公共施設やお店・企業からの着信のとき、ハローページなどの情報をもとに自動で名前を表示します。また、振り込め詐欺や悪質な勧誘などの迷惑電話の着信に対して警告を表示させたり、自動で着信を拒否することができますので、知らない番号でも安心して電話に出られます。
[8]データお預かりを使う		写真やアドレス帳など携帯電話に保存されているさまざまなデータをauサーバーに預けたり、SDカードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。(▶P.107)
[9]遠隔操作サポートを使う		携帯電話の操作で困ったとき、お客様の携帯電話の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。(▶P.104)
[0]安心ナビを使う		自分の居場所を確認できるようにするためのアプリです。探す方の端末をパートナー登録することでご利用いただけます。
[*]あんしんフィルターfor auを使う※1		お子様が携帯電話を安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.105)
[#]au助手席ナビを使う		最新のVICS渋滞情報や交通状況を考慮して、目的地までの最適ルートを案内するカーナビゲーションアプリです。

[8]auのサービスを利用する※2	[au Wi-Fi接続ツールを使う	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただけます。
[9]歩数計を使う		歩数計を利用します。(▶P.118)
[0]私の情報を見る		自分の電話番号やメールアドレスを確認したり、「私の情報」を編集したりできます。(▶P.65)
[*]設定を行う		設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.122)

*1 ポインター対応アプリです。

*2 お申し込みが必要なサービスがあります。



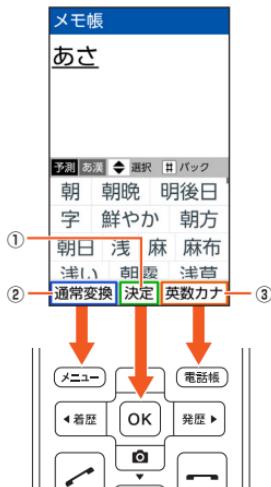
- ◎ アプリを起動してそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ アプリのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 端末の初期化を実行した場合、一部のアプリが削除されることがあります。

共通の操作を覚える

■ 基本的なキー操作を覚えよう

■ 画面の最下行に表示された内容を実行するには

画面の下部に表示された内容を実行するには、対応するキーを押します。



①「決定」は、**OK**を押します。

②「通常変換」は、**□**を押します。

③「英数カナ」は、**電話帳**を押します。

■ 項目を選択するには

表示された項目を選択するには、**▲**(上キー)／**▼**(下キー)／**◀**(左キー)／**▶**(右キー)で項目を選択して**OK**を押します。

■ 1つ前の画面に戻るには

戻るを押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

■ 待受画面に戻るには

各機能から待受画面に戻るには、**□**を押します。

- ・一定時間キー操作をしないと、自動的に待受画面に戻る場合があります。
- ・通話中に各機能を呼び出している場合は、通話が切れことがあります。
- ・操作中の機能やアプリが終了します。

■ 数字を入力するには

0～**9**を押すと、数字を入力できます。

数字を入力する欄の上下に「**▲**」と「**▼**」が表示されている場合は、**▲**／**▼**を押すことで、数字を増減できます。

■ 光で操作ナビを利用する

本製品の**□**／**OK**／**電話帳**／**□**が光り、次に押すキーをお知らせします。**□**／**OK**／**電話帳**は画面の最下行に表示された内容と同じ色で光ります。

- 1 待受画面で**□**→[設定を行う]→[便利機能を設定する]
→[光で操作ナビを利用する]→[利用する]→[OK]



一部の機能ではキーが光らない場合もあります。

○光で操作ナビを「利用する」に設定すると、「利用しない」にしたときより電池の消耗が早くなります。あらかじめご了承ください。

■ チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、項目またはチェックボックスを選択することで設定のON/OFFを切り替えることができます。

また、データの「選択コピー」「選択削除」などをする際は、チェックボックスを選択することで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	設定がON／項目が選択されている状態です。
<input type="checkbox"/>	設定がOFF／項目が選択されていない状態です。

■ ポインターを利用する

ポインターに対応した機能／アプリ（ブラウザなど）を起動し、ポインターをONにすると、画面に表示されるポインターを回／回／前回／戻る／OKで操作できます。

1 ポインターに対応した機能／アプリを起動する

ステータスバーに「OFF」／「ON」が表示され、ポインターがONの場合は、「↑」（ポインター）が表示されます。

- ・ポインターがOFFの場合は、「ポインターをONにする」（▶P.52）をご参照ください。
- ・ポインターの起動確認画面が表示された場合は、内容を確認してから「今後表示しない」／「閉じる」を選択してください。「今後表示しない」を選択すると、次回以降、起動確認画面が表示されません。

■ ポインターをONにする

1 回を1秒以上長く押す

ポインターのON/OFFの設定が切り替わります。

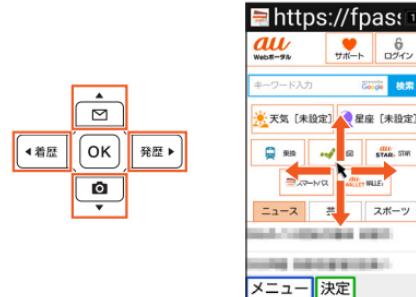
- ・ポインターがONの場合でも、キー操作（回／回／前回／戻る／OK以外）は可能です（一部のアプリを除く）。

■ ポインターの操作について

ブラウザなどを操作するときに、画面上のポインターを上下左右に移動して操作できます。

■ ポインターを移動する

回／回／前回／戻るを押すと、ポインターが上下左右に移動します。



■ ボタンなどを選択する

選択したいボタンや項目などの上にポインターがある状態でOKを押すと、そのボタンや項目などが決定（実行）されます。



■画面をスクロールする

ポインターが画面の上下左右端にあるときに、／／／で画面の外側の方向に動かします。



- を2秒以上長く押すとポインターが「」に変わり、／／／で画面をスクロールできるようになります。
を再度1秒以上長く押すと、ポインターが「」に戻ります。

文字入力

文字入力	56
文字入力の方法	58
文字入力のメニューを利用する	59

文字入力

■文字入力時の各キーの割り当て一覧

文字種	ひらがな漢字	数字(全角/半角)
①	▶あいうえおあいうえお	1
	半角英字 ▶@-_-?,'!1	ダイヤル入力 1
②	ひらがな漢字 ▶かきくけこ	数字(全角/半角) 2
	半角英字 ▶abcABC2	ダイヤル入力 2
③	ひらがな漢字 ▶さしそせそ	数字(全角/半角) 3
	半角英字 ▶defDEF3	ダイヤル入力 3
④	ひらがな漢字 ▶たちつてとっ	数字(全角/半角) 4
	半角英字 ▶ghiGHI4	ダイヤル入力 4
⑤	ひらがな漢字 ▶なにぬの	数字(全角/半角) 5
	半角英字 ▶ijklKL5	ダイヤル入力 5

文字種	ひらがな漢字	数字(全角/半角)
⑥	▶はひふへほ	6
	半角英字 ▶mnoMN06	ダイヤル入力 6
⑦	ひらがな漢字 ▶まみむめも	数字(全角/半角) 7
	半角英字 ▶pqrsPQRS7	ダイヤル入力 7
⑧	ひらがな漢字 ▶やゆよやゆよ	数字(全角/半角) 8
	半角英字 ▶tuvTUV8	ダイヤル入力 8
⑨	ひらがな漢字 ▶らりるるれろ	数字(全角/半角) 9
	半角英字 ▶wxyzWXYZ9	ダイヤル入力 9
⑩	ひらがな漢字 ▶わをんわ。。ー・～！？。空白(ｽﾍﾟｰｽ)	数字(全角/半角) 0
	半角英字 ▶0 空白(ｽﾍﾟｰｽ)! # \$ % & ' () *+,-./:;<= > ?@ [¥] ^ _ { } -	ダイヤル入力 0

文字種	ひらがな漢字	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
※	小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) °(濁点)や°(半濁点)を付加(可能な文字のみ) ▶、。ー、～、！? 空白(△△～△△) ページ／カテゴリの切り替え(絵文字／デコレーション絵文字／顔文字／記号選択中の場合のみ)	小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) 文字確定時は▶...!?	* / *	短く押す* 1秒以上長押し* ...+(プラス)
文字種	ひらがな漢字	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
#	文字入力時は、1つ前の文字を表示(バック機能) 文字確定時は、改行 ページ／カテゴリの切り替え(絵文字／デコレーション絵文字／顔文字／記号選択中の場合のみ)		#	短く押す# 1秒以上長押し....:(ポーズ)
文字種	ひらがな漢字	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
メニュー	メニューから機能引用、定型文などの呼び出し 通常変換と予測変換の切り替え(文字種が「あ漢」の場合のみ)		メニューから機能引用、定型文などの呼び出し	
文字種	ひらがな漢字	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
電話帳	文字入力時に、英数カナ／予測変換の切り替え、もしくは全半変換／予測変換の切り替え 絵文字／デコレーション絵文字／顔文字／記号の一覧を切り替え			-

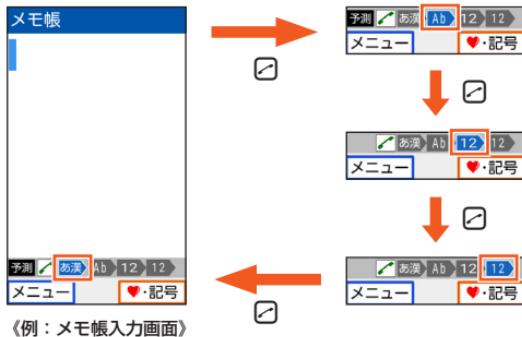
文字種	ひらがな漢字	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
□	文字種の切り替え			-
文字種	ひらがな漢字	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
▲	カーソルの左移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲縮小			カーソルの左移動
文字種	ひらがな漢字	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
▼	カーソルの右移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲拡大 カーソルが文末にある場合は、半角／全角の空白(スペース)を入力			カーソルの右移動
文字種	ひらがな漢字	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
■	カーソルの上移動 変換候補の選択			-
文字種	ひらがな漢字	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
□	カーソルの下移動 変換候補の選択 カーソルが文末にある場合は、改行			-
文字種	ひらがな漢字	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
▲	短く押す....カーソル右側の文字を1文字削除 カーソル右側に文字がない場合は、 カーソル左側の文字を1文字削除 変換候補の選択時は、候補選択を抜けて1文字削除 1秒以上長押し....カーソル右側の文字をすべて削除 カーソルが文頭または文末にある場合は、文字をすべて削除			短く押す....1桁削除 1秒以上長押し....すべて削除

※ 電話帳の電話番号入力画面で有効です。

文字入力の方法

【入力する文字の種類を変更する】

文字入力画面で□を押すたびに、入力する文字の種類が切り替わります。



◎選択できる文字種は、入力画面によって異なります。

◎他機種やパソコンから、Eメールや赤外線通信、ケーブル接続で受信したテキストデータの場合、本製品にない文字（一部の漢字など）があると、その箇所が別の文字などに置き換えられます。

【ひらがな／漢字／カタカナ／英数字の入力】

ひらがなを入力して電話帳(英数カナ)を押すと、入力時に押したダイヤルキーに対応したカタカナ／英字／数字／記号および予測される日付や時間の変換候補一覧が表示されます。文字種が「あ漢」のまま英数字・カタカナや月日・時間などを入力するときに便利です。

例：「かきく」を入力して電話帳(英数カナ)を押すと、「ABC」などの変換候補が表示されます。

文字の修正

【バック機能について】

文字入力時にキーを押しそうて入力したい文字を行きすぎた場合でも、[■]を押すと前の文字に戻すことができます。

例：「き」を入力したかったのに「く」になってしまったとき、[■]を押すと、「き」に戻ります。

【予測変換機能】

予測変換機能を利用すると、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節が変換候補として挙げられます。

例：「か」と入力するだけで、「彼」などの予測変換の候補が表示され、[□]/[◎]を押すと選択できます。また、確定した文に続くことが予想される予測変換の候補も表示されます。

例：「私」と入力すると、予測変換の候補に「は」「の」「が」などが表示されます。[□]/[◎]を押すと選択されます。

[□]を押して予測変換候補と通常変換候補の一覧を切り替えることができます。



◎表示される予測変換の候補は、過去に変換・確定を行った状況によって、異なります。

◎予測変換利用時に、入力したい文字が予測変換の候補にない場合は、[□]（通常変換）を押して通常変換に切り替えてください。

【絵文字／デコレーション絵文字／顔文字／記号の入力】

絵文字／デコレーション絵文字／顔文字／記号一覧を表示して文字入力画面に入力します。

一覧の表示方法は文字入力画面に変換対象がない場合に電話帳を押します。

電話帳を押すたびに、絵文字／デコレーション絵文字／顔文字／記号の順に切り替わります。



◎異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、絵文字が正しく表示されないことがあります。

◎絵文字／デコレーション絵文字／顔文字／記号の一覧を表示中に□/□を押すとカテゴリを切り替えます。

◎デコレーション絵文字はEメール作成時のみ表示されます。

文字入力のメニューを利用する

メニューから文字のコピー／貼り付けなどができます。

文字をコピーしてから貼り付ける

- 1 文字入力画面で□→[コピーする]
- 2 □/□/着陸/先段で開始位置にカーソルを移動→□(始点)→□/□/着陸/先段で範囲を指定→□(終点)
- 3 □/□/着陸/先段で貼り付ける位置へカーソルを移動→□→[貼り付ける]

他の文字入力メニュー

1 文字入力画面で□

2 文字種を切替	入力する文字の種類を切り替えます。
電話帳を引用	電話帳の登録内容を入力します。
私の情報引用	「私の情報」の登録内容を入力します。
定型文を引用	定型文を入力します。
コピーする	▶P.59「文字をコピーしてから貼り付ける」
貼り付ける	▶P.59「文字をコピーしてから貼り付ける」
自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 ・カーソル移動後でも、“(濁点)／“(半濁点)の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。

※表示される項目は、条件によって異なります。

電話

電話.....	62
電話をかける	62
電話を受ける	64
私の情報(自分の電話番号)を確認する.....	65
通話に関する設定をする	66

電話

電話をかける

■電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

ダイヤル画面が表示され電話番号が入力されます。

：カーソルの位置を移動

：一桁削除

を1秒以上長押し：待受画面に戻る

（登録）：入力した電話番号を電話帳に登録（▶P.70）

2 ☎

通話を開始します。

／または／：通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節

：通話を保留

：通話録音

3 通話→□

通話を終了します。

・本製品を閉じても通話を終了できます。

memo

○送話口（マイク）を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

○機内モードを設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）へは電話をかけることができます。

■緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎日本国内の緊急機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。

◎警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。

◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。

◎緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができます。

◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。

◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。

◎警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかげになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。

◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

◎着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に5分間解除されます。

■；（ポーズ）ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておくと、通話中に確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例：「03-0001-XXXX（銀行の電話番号）」に電話をかけて、店番号「22X」

口座番号「123XX」を送信する場合

1 電話番号を入力→【#】を1秒以上長く押す

1番目の：（ポーズ）が入力されます。

2 送信するプッシュ信号を入力



2番目の：（ポーズ）が入力されます。

※：（ポーズ）を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

3 ☐→[はい]

発信すると、確認画面が表示されます。送信先が電話を受けていることを確認してから「はい」を選択してください。



◎ 電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

■ ダイヤル画面のメニューを利用する

1 ダイヤル画面で[メニュー]

2 特番を付加	電話番号に特番を付加します。
電話帳を引用	電話帳を呼び出します。
履歴を引用	発信履歴／着信履歴を表示します。
SMSを作成	▶P.87「SMSを送る」
電話帳へ登録	▶P.70「電話帳に登録する」

■ 通話録音を利用する

通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。

1 通話中画面で[戻る]

- ・通話録音の再生については「通話録音を再生する」(▶P.67)をご参照ください。



◎ 録音できるのは、1件あたり約20分間で、100件までです。100件録音されている場合は、再生済みで保護されていない通話録音が、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、通話録音をしません。

■ 通話中画面のメニューを利用する

1 通話中画面で[メニュー]

2 スピーカーを有効／スピーカーを無効	ハンズフリー通話のON/OFFを設定します。
聞こえ調整	相手の声の聞こえかたを調整します。
私の情報	自分の電話番号が表示されます。
Bluetooth ON／Bluetooth OFF	別売のBluetooth®ヘッドセットと接続／解除します。 ・ヘッドセットと接続状態のときに設定できます。ヘッドセットとの接続について詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.138)をご参照ください。

■ 履歴を利用して電話をかける

1 待受画面で[発信]/[着信] (発信履歴)/[着信履歴]

発信履歴／着信履歴一覧画面が表示されます。

- ・[発信]/[着信]を押して発信履歴／着信履歴一覧画面を切り替えることができます。

⌚: 着信

⌚: 着信(留守電メモあり)

⌚: 不在着信

⌚: 不在着信(留守電メモあり)

⌚: 不在着信(ワン切り)*

⌚: 着信拒否

⌚: 発信

※ 約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

2 履歴から電話をかける相手を選択→□

選択した相手に電話を発信します。

- ・発信履歴／着信履歴一覧画面で履歴を選択→□と操作すると発信するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 発信履歴／着信履歴一覧画面のメニューを利用する

1 発信履歴／着信履歴一覧画面でメニュー

② 留守電メモ 再生	留守電メモを再生します。
電話帳へ登録	▶ P.70「電話帳に登録する」
SMSを作成	▶ P.87「SMSを送る」
特番を付加	電話番号に特番を付加します。
履歴を削除	履歴を削除します。

※ 表示される項目は、条件によって異なります。

■ au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例: 本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 待受画面で国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→□



※ 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。



memo

○ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

○ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

○ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一緒にしてのご請求となります。

○ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようになります。

au国際電話サービスに関するお問い合わせ:

au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)

一般電話から **0077-7-111**(通話料無料)

受付時間 毎日9:00～20:00

■ 電話を受ける

■ 電話に出る

1 着信中に□／○(応答)

通話を開始します。

2 通話→□

通話を終了します。

■ 電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知がないと、理由が表示されます。
「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能*」

* 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。



着信時に着信音をOFFにしたり、調節するには

- ◎ 着信中に□を押すと、着信音をOFFにすることができます。
 - ◎ 本体を閉じた状態では、着信中に+/-を押すと着信音をOFFにすることができます。
 - ◎ 着信中に◎/回または+/-を押すと着信音量を変更できます。
- 他の機能をご利用中に着信した場合は
- ◎ 電話帳などの他の機能をご利用中に着信した場合は、着信が優先されます。
 - ◎ ビデオを録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。
 - ◎ マナーモードを「ドライブモード」に設定している場合は、自動的に伝言メモが起動します。

着信中のメニューを利用する

1 着信中にメニュー

② 留守電メモ応答	留守電メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。 <ul style="list-style-type: none">・ 留守電メモ録音中に電話帳(受話ON／受話OFF)と操作すると、相手の方の音声のON／OFFを切り替えます。・ 留守電メモ録音中に□を押すと電話に出ることができます。
着信を拒否	▶P.65「着信を拒否する」
着信を転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号、またはお留守番サービスへ転送します。 <ul style="list-style-type: none">・ 転送先の登録方法については「手動で転送する(選択転送)」(▶P.144,P.148)をご参照ください。

着信を拒否する

1 着信中にメニュー→[着信を拒否]

着信音が止まって電話が切れます。相手の方は「おかげになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

- ・ 着信中に□を押して着信拒否することもできます。

私の情報(自分の電話番号)を確認する

私の情報を確認する

1 待受画面でメニュー→[私の情報を見る]

私の情報画面が表示されます。

- ・ 待受画面でメニュー→□と操作しても確認できます。

私の情報を編集する

1 私の情報画面でメニュー→[編集する]

2 必要な項目を入力

3 電話帳(登録)→OK



◎ 私の情報の編集や、登録する項目の追加方法は、電話帳登録と同様です。詳しくは、「電話帳に登録する」(▶P.70)をご参照ください。

◎ 私の情報画面でメニュー→[赤外線で送信]／[メールに添付]／[Bluetooth送信]と操作すると、赤外線やメール、Bluetooth[®]で私の情報を送信できます。

通話に関する設定をする

通話設定メニューを表示する

1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]

通話設定メニューが表示されます。

2 通話時間を確認する	前回通話・累積の通話時間の目安を表示します。
着信の設定を行ふ	ダイヤルキーでの応答設定や、本製品を開けたときに通話を開始するかどうかを設定します。
留守電メモを使う	留守電メモを確認する ►P.67「留守電メモを再生する」 留守電メモを設定する 電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。 •待受画面で[戻る]を1秒以上長押ししても設定できます。 応答時間を設定する 留守電メモで応答するまでの時間を設定します。
auお留守番にかける	お留守番サービスセンターに発信して伝言メッセージを再生します。
通話録音を確認する	►P.67「通話録音を再生する」
着信拒否を設定する	着信拒否について設定します。 •詳しくは、「着信拒否の設定をする」(►P.67)、「番号通知リクエストサービスを利用する」(►P.146)、「迷惑電話撃退サービスを利用する」(►P.154)をご参照ください。
通話サービスの設定を行う	►P.68「通話サービスを設定する」

聞きやすさを設定する

聞こえ調整を設定する 相手の声を好みの音質に調整します。 なめらか通話を設定する

自分の声を受話部から聞こえるようにすることで、より聞きやすく、話しやすくします。

通話中ランプを設定する

通話中のランプの点灯色を設定します。

市外局番メモリを設定する

よくかける地域の市外局番を設定します。電話番号を市内局番から入力するだけで、設定した市外局番を自動的に追加して電話をかけることができます。

auサポートを使う

My au(auお客さまサポート)のウェブサイトに接続したり、お客さまセンターへ電話によるお問い合わせができます。



memo

通話時間について

- ◎表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。
- ◎通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されないことがあります。

留守電メモについて

- ◎録音できるのは、1件あたり約60秒間で、100件までです。100件録音されている場合は、再生済みで保護されていない留守電メモが、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、留守電メモで応答しません。

■ 留守電メモを再生する

① 通話設定メニュー→[留守電メモを使う]→[留守電メモを確認する]

留守電メモリスト画面が表示されます。

- ・待受画面で[留守電メモ]を押しても留守電メモリスト画面を表示できます。

② 再生する留守電メモを選択→OK→OK(再生)

留守電メモが再生されます。

- ・OK(停止)で再生中の留守電メモを停止します。



◎ 留守電メモリスト画面で[削除]を押して留守電メモの削除や保護／解除を行うことができます。

■ 通話録音を再生する

① 通話設定メニュー→[通話録音を確認する]

通話録音リスト画面が表示されます。

② 再生する通話録音を選択→OK→OK(再生)

通話録音が再生されます。

- ・OK(停止)で再生中の通話録音を停止します。



◎ 通話録音リスト画面で[削除]を押して通話録音の削除や保護／解除を行うことができます。

■ 着信拒否の設定をする

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

① 通話設定メニュー→[着信拒否を設定する]

2	指定番号からの拒否設定	指定した電話番号からの着信を拒否します。 ・「拒否方法を設定する」から拒否方法を設定できます。 ・[指定番号リストを編集する]→[新規登録]と操作すると、着信を拒否する番号を登録できます。 ・ [削除] から登録済みの電話番号を削除することができます。
---	-------------	---

非通知からの拒否設定	電話番号を通知しない着信を拒否します。
------------	---------------------

公衆電話からの拒否設定	公衆電話からの着信を拒否します。
-------------	------------------

通知不可能からの拒否設定	電話番号を通知できない着信を拒否します。
--------------	----------------------

電話帳登録外の拒否設定	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
-------------	-------------------------------

■通話サービスを設定する

留守番電話、着信転送などネットワークサービスを設定します。

1 通話設定メニュー→[通話サービスの設定を行う]

2 発信者番号通知を許可する	自分の電話番号を相手の方に通知するかどうかを設定します。
着信転送・お留守番を選ぶ	着信転送サービス、お留守番サービスについて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「着信転送サービスを利用する」(▶P.142)、「お留守番サービスEXを利用する」(▶P.146)をご参照ください。
番号通知リクエストサービスを設定	番号通知リクエストサービスについて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは「番号通知リクエストサービスを利用する」(▶P.146)をご参照ください。
迷惑電話撃退サービスを設定	迷惑電話撃退サービスについて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは「迷惑電話撃退サービスを利用する」(▶P.154)をご参照ください。
割込通話を利用する	割込通話サービスについて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「割込通話サービスを利用する」(▶P.152)をご参照ください。
ガイダンスの言語を選ぶ	ガイダンスの言語を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、「英語ガイダンスへ切り替える」／「日本語ガイダンスへ切り替える」(▶P.151)をご参照ください。
オプションサービスを申し込み込む	オプションサービスの申し込みを行います。



memo

◎電話をかけるときは、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知を許可する」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。

◎「発信者番号通知を許可する」を「通知しない」に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

電話帳

電話帳	70
電話帳に登録する	70
グループを設定する	70
電話帳の一覧を利用する	71
電話帳の登録内容を利用する	72

電話帳

電話帳に登録する

連絡先の電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。連絡先ごとに着信音やバイブルエタなどを設定することもできます。

1 待受画面で電話帳→メニュー→[新規に登録]

電話帳登録画面が表示されます。

2 名前(姓)を入力→姓のよみがなを入力→名前(名)を入力 →名のよみがなを入力→電話番号を入力→メールアドレスを入力

3 電話帳(登録)→OK



- ◎ 電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、ウェブサイト、メモなどを追加／変更する場合は、待受画面で電話帳→追加／変更したい相手を選択→メニュー→[編集する]と操作します。
- ◎ 電話帳に登録する項目を追加する場合は、電話帳編集画面でメニュー→[項目追加]→追加したい項目を選択→OKと操作します。
- ◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- ◎ 名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
- ◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」は動作しません。
- ◎ 電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれるをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

グループを設定する

グループごとに名前、着信音や充電／通知ランプなどを設定できます。

1 待受画面で電話帳→メニュー→[グループ設定]

グループ設定画面が表示されます。

2 メニュー

3

グループ追加

グループ編集

グループ削除

並び替え

グループを追加します。

グループを編集します。

グループを削除します。

グループの表示位置を変更します。

・選択されているグループを団/回で移動→OKと操作すると並び順を変更できます。



memo

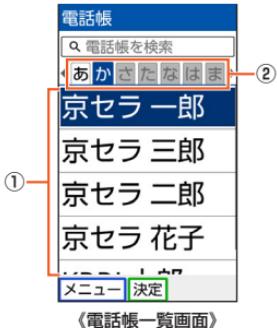
- ◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、グループの音声着信の設定は動作しません。
- ◎ 個別の連絡先に「着信設定」が設定されている場合は、連絡先の設定が優先されます。

電話帳の一覧を利用する

■ 電話帳一覧画面を表示する

① 待受画面で電話帳

■ 電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面》

①連絡先

選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。
選択してOKを押すと連絡先の詳細画面が表示されます。

②タブ

選択した行の文字から始まる連絡先が表示されます。
■/□を押してタブを切り替えられます。

電話帳一覧画面のメニューを利用する

① 待受画面で電話帳

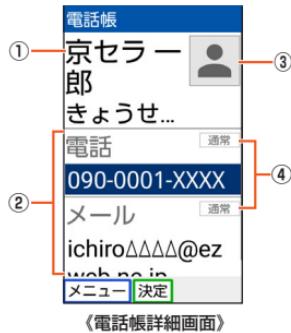
② メニュー

③ 新規に登録	新規で連絡先を登録します。
編集する	連絡先を編集します。
削除する	連絡先を1件または複数件削除します。
送信する	連絡先をメールに添付したり、赤外線やBluetooth®機能で送信します。
表示方法	連絡先の表示方法を切り替えます。
件数を確認	連絡先の登録件数を確認します。
グループ設定	▶P.70「グループを設定する」

電話帳の登録内容を利用する

①待受画面で電話帳→連絡先を選択→OK

■電話帳詳細画面の見かた



《電話帳詳細画面》

- ①名前
- ②登録内容
- ③写真
- ④通常使用の電話番号／通常使用のメールアドレス



- ◎ 登録内容を選択→OKと操作すると電話の発信、メールの作成などができます。
- ◎ 電話番号／メールアドレスを選択→OK→[通常使用の番号として設定]／[通常使用の宛先として指定]と操作すると、通常使用の電話番号／メールアドレスに設定できます。
- ◎ [エコ]→[編集する]と操作すると、登録内容を編集できます。

メール

メールについて.....	74
Eメール	74
Eメールを確認する	75
Eメールを送信する	77
Eメールを受信する	79
新着メールを問い合わせて受信する.....	81
Eメールを検索する	81
Eメールのメニューを利用する.....	81
Eメールを設定する.....	82
迷惑メールフィルターを設定する.....	84
SMS(Cメール)	87
SMSを送信する.....	87
SMSを受信する.....	88
SMSを返信／転送する.....	88
SMSを保護／保護解除する	89
SMSの電話番号を電話帳に登録する.....	89
SMSを検索する.....	89
SMSを削除する.....	89
SMSを設定する.....	89

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ Eメール

(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができるサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます(▶P.74)。

■ SMS(Cメール)

電話番号を宛先としてメールのやり取りができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMSの送信および受信をご利用いただけます(▶P.87)。

Eメール

Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、本製品同梱の『かんたんマニュアル』をご参照ください。
• Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客様センターまでお問い合わせください。



memo

- ◎ Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。詳しくは、au総合力タログおよびauホームページをご参照ください。
- ◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかることがあります。
- ◎ 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[端末を初期化する]を行った場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されます。事前にバックアップを行ってください。

Eメールの初期設定について

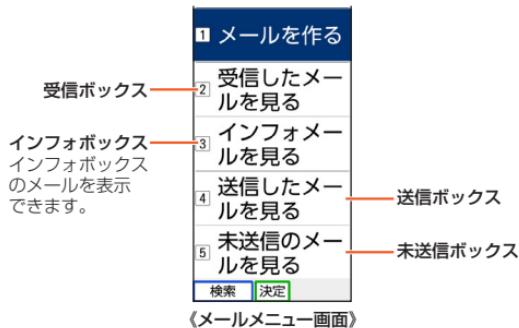
- ◎ 初期設定は電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行なうと、正しく設定されない場合があります。
- ◎ 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
- ◎ Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスを変更する」(▶P.83)をご参照ください。
- ◎ Eメールの文字サイズは、待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[画面を設定する]→[文字の大きさを設定する]でサイズを変更することができます。

Eメールを確認する

受信したEメールは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのEメールは「送信ボックス」に保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「未送信ボックス」に保存されます。

1 待受画面で②→[メールを使う]

メールメニュー画面が表示されます。



2 [受信したメールを見る]／[インフォメールを見る]／[送信したメールを見る]／[未送信のメールを見る]

受信ボックス／インフォボックス／送信ボックス／未送信ボックス画面が表示されます。

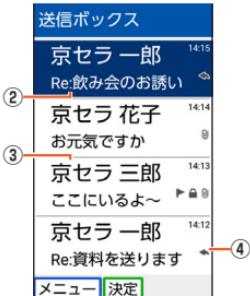
3 Eメールを選択→OK

受信メール／インフォボックスのメール／送信メール／未送信メール
内容表示画面が表示されます。



- ◎「受信ボックス」の容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- ◎「受信ボックス」のすべてのメールが未読の状態で「受信ボックス」の容量を超えると、新着メールを受信できません。
- ◎「送信ボックス」／「未送信ボックス」の容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメールは削除されません。

■受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックス画面の見かた



①●:未読のEメール

②件名

③宛先／差出人の名前またはメールアドレス

電話帳に登録があるメールアドレスの場合には、登録された名前が表示されます。未登録のメールアドレスの場合にはメールアドレスが表示されます。

受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。

・電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

④アイコン

◀:返信したEメール

▶:転送したEメール

⇨:返信／転送したEメール

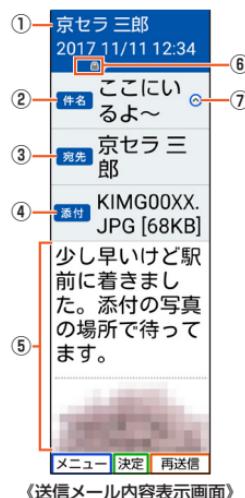
⌚:添付データあり

▣:保護されたEメール

▶:フラグ設定Eメール

▲:送信に失敗したEメール

■受信メール／送信メール内容表示画面の見かた



①宛先／差出人の名前またはメールアドレス

②件名：件名

③差出人：差出人の名前またはメールアドレス

宛先／同報：宛先／同報の名前またはメールアドレス

④添付ファイル

添付：添付データ

添付：インライン添付データ

⑤本文

⑥アイコン

- ◀：返信したEメール
- ▶：転送したEメール
- ✉：返信／転送したEメール
- ✉：複数の宛先あり
- ▲：送信に失敗したEメール
- ：保護されたEメール
- ▶：フラグ設定Eメール
- ⑦(○)／(○)：詳細情報の表示／非表示

Eメールを送信する

1 待受画面で[メールを使う]→[メールを作る]

送信メール作成画面が表示されます。

2 宛先入力欄を選択→[OK](編集)

3 電話帳を引用	電話帳のメールアドレスを宛先に入力します。
受信履歴引用	受信メール履歴／送信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。
送信履歴引用	自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
私の情報引用	メールアドレスの文字列を直接入力します。
直接入力する	コピーしたメールアドレスを貼り付けます。

※表示される項目は、条件によって異なります。

4 件名入力欄を選択→[OK](編集)→件名を入力

5 本文入力欄を選択→[OK](編集)→本文を入力

6 電話帳(送信)→[送信]→[OK]



- ◎ メール作成画面でOK(保存)を押すと、作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存できます。
- ◎ デコレーションアニメには対応しておりません。
- ◎ 件名や本文には、半角カナおよび半角記号(ー(長音)°(濁点)°(半濁点)、。・「)は入力できません。
- ◎ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- ◎ 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(1件につき半角64文字以内)までです。
- ◎ 絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換される場合があります。
- ◎ 本文には、最大20件(合計100KB以下)のデコレーション絵文字を挿入できます。
※ 一度挿入したデコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

■ 宛先を追加・削除する

■ 宛先を追加する場合

1 メール作成画面で未入力の宛先入力欄を選択→OK(編集)

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」の操作③をご参照ください。

■ 宛先を削除する場合

1 メール作成画面で削除する宛先の入力欄を選択→OK(編集)→[削除する]→[削除]

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 メール作成画面で添付欄を選択→OK(編集)

2 静止画を選択	静止画データを添付します。
動画を選択	動画データを添付します。



- ◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
- ◎ 1データあたり2MB以上の画像データ(JPEG、PNG)を添付、または合計で2MB以上のデータを添付する際は、画像データ(JPEG、PNG)のサイズを縮小する場合があります。

画像データ(JPEG、PNG)のサイズをさらに縮小したい場合は、「画像サイズをケータイ用に変更」を選択してください。

受信側の端末によっては、受信できない、または、正しく表示できない場合があります。

- ◎ データを添付した後に、添付欄を選択→OKと操作すると添付したデータを表示できます。また、[X]→OK→[削除]と操作すると添付データを削除できます。

Eメールを受信する

① Eメールを受信

- Eメールの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。
- ・Eメール受信音が鳴ります。
 - ・ステータスバーにメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
 - ・画面消灯中にEメールを受信した場合、画面表示操作を行ったり、本製品を開いたりすると、お知らせメニューが表示されます。



- ・充電／通知ランプが点滅します。
充電／通知ランプの色は変更することができます。充電／通知ランプの設定について詳しくは「音・パイプ・ランプの設定をする」(▶P.123)をご参照ください。
- ・本製品を閉じているときは、サブディスプレイに「メールあり」と表示されます。

■ お知らせメニューから表示する場合

② 待受画面のお知らせメニューで[メール]

- ・未読メールが1件の場合は、メールの内容が表示されます。
- ・未読メールが2件以上の場合は、メールメニュー画面が表示されますので、操作③に進みます。

■ 受信ボックスから表示する場合

② 待受画面で回→[メールを使う]

メールメニュー画面が表示されます。

③ [受信したメールを見る]→受信したEメールを選択→OK

メール内容表示画面が表示されます。



- ◎ Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。
- ◎ 受信に失敗した場合は、新着メールの確認操作(▶P.81)を行い、Eメールを受信してください。
- ◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかる場合があります。
- ◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- ◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

① 添付データを受信・再生する

① 受信メール内容表示画面で「○」を選択→OK

② 添付データを選択→OK→[添付を表示]

- 未受信の添付データは、添付データのファイル名を選択すると受信が開始されます。
- 受信完了後、もう一度添付データを選択→[添付を表示]と操作してください。
- ・「保存する」を選択すると、添付データを保存できます。



◎添付データが本文表示画面に表示される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※データによっては、表示されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存できます。

1 受信メール内容表示画面で[メニュー]→[画像を保存]

2 保存する画像を選択→[OK]

選択した画像が内部ストレージ、またはmicroSDメモリカードが挿入されている場合はmicroSDメモリカード(storage/sdcard1/private/au/email/MyFolder)に保存されます。

添付画像を自動で保存するように設定するには「添付自動保存を設定する」(▶P.82)をご参照ください。



◎未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください。

差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 受信メール内容表示画面を表示

■ メールアドレスを利用する場合

2 「」を選択→[OK]→差出人／宛先／本文中のメールアドレスを選択→[OK]

3 Eメール作成 選択したメールアドレス宛のメールを作成します。

電話をかける	選択したメールアドレスが登録されている電話帳の連絡先の電話番号に電話をかけます。
電話帳へ登録	選択したメールアドレスを電話帳に登録します。
コピーする	選択したメールアドレスをコピーします。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの拒否リストに登録します。 ・迷惑メールフィルターについて詳しくは、「迷惑メールフィルターを設定する」(▶P.84)をご参照ください。
迷惑メール報告	選択したメールアドレスを迷惑メールとして報告します。

※機能や条件により選択できる項目は異なります。

■ 件名をコピーする場合

2 件名を選択→[OK]→[コピーする]

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号を選択→[OK]

3 音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184(発信者番号非通知)」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186(発信者番号通知)」を付加して電話をかけます。
au国際電話	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 ・au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、次のホームページをご参照ください。 http://www.OO1.kddi.com/lineup/ OO1mobile/au.html
SMSを作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.87「SMSを送信する」

電話帳へ登録	選択した電話番号を電話帳に登録します。
コピーする	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

②本文中のURLを選択

③接続する	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。



◎本文中のメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

①待受画面で[]→[メールを使う]

②[新着メールを確認する]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメールを検索する

①待受画面で[]→[メールを使う]→[](検索)

②キーワードを入力→[]

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

- 半角と全角を区別して入力してください。

Eメールのメニューを利用する

①フォルダー一覧画面のメニューを利用する

①受信ボックス／インフォボックス／送信ボックス／未送信ボックス画面または検索結果一覧画面で操作するEメールを選択→[]

②返信する	Eメールに返信します。 ・元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 ・宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送する	転送するEメールを作成します。 ・元の件名に「Fw:」が追加された件名が入力されます。 ・元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
編集する	未送信のEメールを編集して送信します。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。
保護する／解除する	Eメールを選択して保護／保護解除します。
フラグをつける／フラグを取る	Eメールを選択してフラグ付加／フラグ解除します。
削除する	Eメールを選択して削除します。 ・保護されたEメールは選択できません。
迷惑メール報告	受信した迷惑メールをauへ転送し報告することができます。
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの拒否リストに登録します。 ・迷惑メールフィルターについて詳しくは、「迷惑メールフィルターを設定する」(▶P.84)をご参照ください。

検索する	表示中のボックス内のEメールを検索します。 ・詳しくは、「Eメールを検索する」(▶P.81)をご参照ください。
新着問合せ	新着のEメールがあるかどうかを確認します。

※ 表示される項目は、条件によって異なります。

Eメール一覧画面のメニューを利用する

1 受信メール／インフォボックスのメール／送信メール／未送信メール内容表示画面で□メニュー

2	返信する	Eメールに返信します。 ・件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。
	転送する	転送するEメールを作成します。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールが添付データを受信している場合は、転送メールにも添付されます。
	再送信する	送信済みのEメールを再度送信します。
	送信する	未送信のEメールを送信します。
	編集する	未送信のEメールを編集して送信します。
	コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。
	保護する／解除する	Eメールを選択して保護／保護解除します。
	フラグをつける／フラグを取る	Eメールを選択してフラグ付加／フラグ解除します。
	削除する	Eメールを削除します。
	迷惑メール報告	受信した迷惑メールをauへ転送し報告することができます。
	画像を保存	▶P.80「添付画像を保存する」
	本文拡大縮小	本文の文字のサイズを一時的に拡大／縮小できます。

本文コピー	Eメールの本文を選択してコピーします。 ・文字列の開始位置を選択→ <input checked="" type="checkbox"/> (始点)→ <input checked="" type="checkbox"/> / <input checked="" type="checkbox"/> / <input checked="" type="checkbox"/> / <input checked="" type="checkbox"/> で選択範囲を指定→ <input checked="" type="checkbox"/> (終点)と操作するとコピーできます。
共有する	メール添付や赤外線通信などで送信したり、メモ帳にコピーしたりできます。

※ 表示される項目は、条件によって異なります。

Eメールを設定する

1 待受画面で□→[メールを使う]

2 [Eメールの設定を行う]

Eメール設定画面が表示されます。

3	通知の設定をする	▶P.83「通知に関する設定をする」
	添付自動保存を設定する	電話帳またはワンタッチキーに登録されている相手から送信された添付画像を自動保存するかどうかを設定します。
	アドレス変更・その他の設定	Eメールアドレスの変更へ ▶P.83「Eメールアドレスを変更する」 迷惑メールフィルターの設定／確認へ ▶P.84「迷惑メールフィルターを設定する」 オススメの設定はこちら ▶P.84「迷惑メールフィルターを設定する」 自動転送先の設定へ ▶P.84「転送先を設定する」
	アドレスを更新する	Eメールアドレスの再初期設定を行います。

Eメールの情報を見る

自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。
・→[アドレスコピー]と操作すると、Eメールアドレスをコピーできます。

通知に関する設定をする

① Eメール設定画面で[通知の設定をする]

② 着信音を設定	Eメール受信時の着信音を設定します。
バイブを設定	Eメール受信時のバイブレータを設定します。
ランプを設定	Eメール受信時の充電／通知ランプを設定します。色を選択→OKと操作すると設定されます。 <small>電話機(確認)を押すと、充電／通知ランプで色を確認できます。</small>

Eメールアドレスを変更する

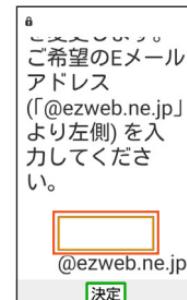
EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。

① Eメール設定画面で[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]→[Eメールアドレスの変更へ]

② 暗証番号を入力→[送信]

③ [承諾する]

④ Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力



⑤ [送信]→[OK]→[閉じる]



- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「_」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。
- ◎ 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。
- ◎ Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。

■ 転送先を設定する

本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。

- 1 Eメール設定画面で[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]→[自動転送先の設定へ]**
- 2 暗証番号を入力→[送信]**
- 3 Eメールアドレスを入力→[送信]→[閉じる]**



- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。
- ◎ 自動転送先の変更登録は、1日3回まで可能です。
※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。
- ◎ 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。
- ◎ Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。
- ◎ 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

- 1 待受画面で□→[メールを使う]→[Eメールの設定を行う]→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]**

■ おすすめの設定にする場合

- 2 [オススメの設定はこちら]→[登録]**

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

- 2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号を入力→[送信]**

迷惑メールフィルター画面が表示されます。

- 3 オススメ括り設定をする**

とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。

詳細設定	<p>受信リストに登録する 個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「個別設定をする」の「一括指定受信」すべてのチェックをOFF(受信拒否)にしてください。 <p>※「必ず受信のみ有効」にチェックを付けることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信します。なお、本受信リストにezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。</p> <p>拒否リストに登録する 個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。</p> <p>アドレス帳受信設定をする 「auアドレス帳」、「Friends Note」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。</p> <p>個別設定をする</p> <ul style="list-style-type: none"> P.85「迷惑メールフィルターの個別設定をする」
設定確認／解除する	迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
設定にあたって	迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

■迷惑メールフィルターの個別設定をする

①迷惑メールフィルター画面の「詳細設定」で【個別設定をする】

2	<p>一括指定受信 インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。</p>
迷惑メールおまかせ規制	メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。
なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。 ※ 受信リスト設定「必ず受信のみ有効」にチェックを付けることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信します。
HTMLメール規制	メール本文がHTML形式で記述されているメールを受信、または拒否することができます。
URLリンク規制	本文中にURLが含まれるメールを受信、または拒否することができます。
ウィルスメール規制	添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するかしないかを設定することができます。



memo

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- ◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
 ウィルスメール規制>受信リスト設定(「必ず受信のみ有効」チェック有り)>
 なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>
 HTMLメール規制>URLリンク規制>一括指定受信>迷惑メールおまかせ規制
- ◎ 「受信リスト設定(「必ず受信のみ有効」チェック有り)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信のみ有効」チェック有り)」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- ◎ 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
- ◎ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができないとなる場合があります。
- ◎ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

◎ 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。

この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。

※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録してください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。

・詳しくはauのホームページでご確認ください。

SMS(Cメール)

「SMS」アプリはau電話番号でメッセージのやりとりができるアプリです。

au電話番号宛だけでなく、国内他事業者や海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 待受画面で団→[SMSを使う]

SMSメニュー画面が表示されます。

2 [メールを作る]→[直接入力]→相手先電話番号を入力

[電話帳呼出]→電話帳から相手先を選択することもできます。

海外へ送信する場合は、宛先には相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力してください。

「010」+「国番号」+「相手先電話番号」

※ 電話帳などから相手先携帯電話番号を引用した場合は、もう一度宛先入力欄を選択して「010」と「国番号」を入力してください。

※ 相手先携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。

3 本文を入力

メッセージは、全角最大670／半角最大1530文字まで入力できます。

※ 国内・海外他事業者宛には全角最大70／半角最大160文字まで送信できます。

・本文の入力中に団を押すと、引用やコピーなどの操作ができます
(▶P.59)。

4 電話帳(送信)→[OK]



memo

◎操作 4 の前に団を押すと、「送信したメールを見る」(送信ボックス)に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。

◎SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※ 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	300件 ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。
◎蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。	
SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎発信者番号を通知せずにSMSを送信することはできません。

◎絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換される場合があります。

◎SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに「▲」が表示される場合があります。

◎国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受信する

1 SMSを受信

- SMSの受信が終了すると、通知が表示され、メール受信音が鳴ります。
- ・本製品を閉じているときはサブディスプレイに「SMSあり」が表示されます。
 - ・充電／通知ランプが点滅します。

2 待受画面で[SMSを使う]→[受信したメールを見る]

受信ボックスが表示されます。

待受画面のお知らせメニューで「SMS」を選択しても、受信したメッセージを確認できます。

未読のメッセージには「未読」が表示されます。

3 確認する相手先のメッセージを選択→OK

メッセージ内容表示画面が表示されます。



- ◎ SMSの受信は無料です。
- ◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
- ◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
- ◎ 本体メモリ(内部ストレージ)が不足した場合、SMSを正しく受信できません。
- ◎ データお預かりでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 待受画面で[SMSを使う]→[受信したメールを見る]

2 [返信／転送する]メッセージを選択→OK

■ 返信する場合

3 電話帳(返信)→[本文を入力]→本文を入力

4 電話帳(送信)→[OK]

■ 転送する場合

3 [メニュー]→[転送する]

4 宛先入力欄を選択→OK→[電話帳呼出]→電話帳から宛先を選択→OK

「直接入力」を選択して宛先を直接入力することもできます。

5 本文入力欄を選択→OK→本文を入力

6 電話帳(送信)→[OK]

■ 電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 メッセージ内容表示画面を表示

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 電話番号を選択→OK

3 [SMS]／[電話]→OK(1回)／電話帳(常時)
画面に従って操作してください。

■ 本文中のメールアドレスを利用する場合

2 メールアドレスを選択→OK

メール作成画面が表示されます。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 URLを選択→OK

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

SMSを保護／保護解除する

- 1 メッセージ内容表示画面を表示
- 2 [メニュー]→[保護する]／[保護解除する]
保護したメッセージには「」が表示されます。

SMSの電話番号を電話帳に登録する

- 1 メッセージ内容表示画面を表示
- 2 差出人を選択して[メニュー]→[電話帳登録]
- 3 [新規の電話帳として登録]／[既存の電話帳に追加]
画面に従って操作してください。

SMSを検索する

- 1 待受画面で[SMSを使う]
- 2 [メニュー]→[検索する]→キーワードを入力
半角と全角を区別して入力してください。
- 3 [電話帳(検索)]
検索結果一覧が表示されます。
検索結果を選択すると、メッセージ内容表示画面が表示されます。

SMSを削除する

- 1 待受画面で[SMSを使う]
- 2 [受信したメールを見る]／[送信したメールを見る]
- 3 メッセージを選択→[電話帳(削除)]→[1件削除]／[全件削除]
→[はい]→[OK]

SMSを設定する

SMS設定をする

- 1 待受画面で[SMSを使う]
- 2 [メニュー]→[設定する]
SMS設定画面が表示されます。

3 通知方法を設定する	SMS受信時の通知を設定します。「OFF」に設定すると、着信音、バイブレータ、LEDも「OFF」になります。 「差出人」「通知のみ」「OFF」
着信音を変更する	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF]／[着信音]／[ダウンロード]→着信音を選択→[OK]→[OK]
振動方法を設定する	SMS受信時のバイブルーティアを設定します。 [OFF]／パターンを選択→[OK]→[OK]
文字サイズを設定する	文字サイズを設定します。
署名をつける	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名を編集する	挿入する署名の内容を設定します。
受信拒否を設定する	▶P.90「メッセージの受信拒否を設定する」



◎ SMS設定画面で[≡]→[設定を初期化]→[はい]と操作すると、設定内容を買い上げ時の状態に戻します。

受信フィルターを設定する

1 SMS設定画面で[受信拒否を設定する]

2 拒否リストで拒否	指定した番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
拒否リストを編集	<p>拒否リストに登録します。 [≡] (追加) → [直接入力] → 拒否する電話番号を入力 → [OK]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[電話帳呼出] → 電話帳から電話番号を登録することもできます。 ・受信ボックスで拒否したい宛先のメッセージを選択して[≡] → [受信拒否追加] → [OK]と操作しても登録できます。 ・登録した電話番号を削除するには、削除する番号を選択 → [電話帳] (削除) → [1件削除] → [はい] → [OK]と操作します。
電話帳登録外拒否	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。

インターネット

インターネット接続.....	92
インターネットに接続する	92
データ通信を利用する.....	92
ブラウザ	92
インターネットメニューを利用する.....	92
ブラウザ画面のメニューを利用する.....	94
ポインターで操作する.....	94

インターネット接続

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi[®])機能を使用してインターネットに接続できます。



- ◎ LTE NETなどに加入していない場合は、データ通信を利用できません。
- ◎ EZwebサイトはご利用いただけません。従来の3Gケータイでご利用していたコンテンツは継続してご利用いただけません。また、お客様ご自身での退会手続きが必要です。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」などのご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。



- ◎ LTE フラットなどのデータ通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額ご利用いただけます。LTE NET、データ通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■データ通信ご利用上の注意

- ・画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額／割引サービスの加入をおすすめします。

- ・ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://www.au.com/support/>

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

- ・初めてWebページを表示したときは許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- ・ブラウザは、ポインター対応アプリです。
- ・Webページによっては、本製品の画面に最適化されずに表示する場合があります。

インターネットメニューを利用する

①待受画面で[メニュー]→[インターネットを利用する]

インターネットメニュー画面が表示されます。

初回起動時には許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2	ホームページを見る	▶P.93「Webページを表示する」
	お気に入りのページを見る	▶P.93「お気に入り／履歴を利用する」
	インターネットで検索する	▶P.93「インターネットで検索する」
	過去に見たページの履歴	▶P.93「お気に入り／履歴を利用する」
	保存したデータの一覧	▶P.93「インターネットから保存したデータを確認する」
	インターネットの設定	▶P.93「ブラウザを設定する」



memo

- ◎ **[■]**を押して、お気に入り(ブックマーク)と履歴の一覧画面を切り替えられます。
- ◎ お気に入り画面で**[■]**を押すとメニュー項目が表示され、お気に入りの編集や削除などの操作が行えます。
- ◎ 履歴画面で履歴を選択して**[■]**を押すとメニュー項目が表示され、履歴を削除できます。

■ Webページを表示する

1 インターネットメニュー画面で[ホームページを見る]

ホームページ画面が表示されます。

初回起動時には許可画面やポインターの説明が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。



- ◎ インターネット設定の「ホームページを設定する」で設定したページを表示します。
- ◎ 非常に大きなWebページをブラウザで表示した場合は、アプリが自動的に終了することがあります。

■ お気に入り／履歴を利用する

1 インターネットメニュー画面で[お気に入りのページを見る]／[過去に見たページの履歴]

2 お気に入り／履歴を選択→**OK**(接続)

■ インターネットで検索する

キーワードを入力してWebページの情報を検索したり、URLを直接入力してサイトを表示したりできます。

1 インターネットメニュー画面で[インターネットで検索する]

2 URL／キーワードを入力→**OK**

キーワードで検索した結果または入力したURLのページが表示されます。

■ インターネットから保存したデータを確認する

インターネットからダウンロードした画像などを確認できます。

1 インターネットメニュー画面で[保存したデータの一覧]

■ ブラウザを設定する

1 インターネットメニュー画面で[インターネットの設定]

インターネット設定画面が表示されます。

2 各種項目を設定

ブラウザ画面のメニューを利用する

1 Webページを表示中にメニュー

2 お気に入り	▶P.93「お気に入り／履歴を利用する」
ページを登録	表示中のサイトをお気に入りに登録します。
インターネット検索	▶P.93「インターネットで検索する」
新規タブ／タブの一覧	新規にタブを作成したり、タブの一覧を表示したりします。タブの一覧画面では[×]を押して新規のタブを作成したり、[閉じる]を押してタブを閉じたりすることができます。
画像を保存	表示中のサイトの画像を保存します。ポインターを画像に移動後、画像を選択して保存できます。
ページの情報	表示中のサイトのタイトルやURLなどの情報を表示します。
再び読み込む	表示中のサイトを再度読み込みます。
保存したデータ	▶P.93「インターネットから保存したデータを確認する」
インターネット設定	▶P.93「ブラウザを設定する」
操作の説明	各キーの使いかたを表示します。
文字サイズ設定	文字サイズを設定します。
ポインターの切替	ポインターのON／OFFを切り替えます。

※ 表示される項目は、条件によって異なります。

ポインターで操作する

ポインターの機能を利用して、ブラウザを快適に閲覧できます。ポインターについて詳しくは、「ポインターを利用する」(▶P.52)をご参照ください。

カメラ

カメラ	96
カメラを利用する.....	96
拡大鏡を利用する.....	98
バーコードリーダーを利用する	99
写真やビデオを利用する	99
保存されているデータを確認する.....	99
データを管理する.....	100

カメラ

本製品に搭載されているカメラ機能を使って、写真の撮影やビデオの録画、バーコードの読み取りなどを行えます。

カメラを利用する

本製品は有効画素数約800万画素のCMOSカメラを搭載し、写真やビデオの撮影ができます。

電池残量が少ない場合や極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

【カメラをご利用になる前に

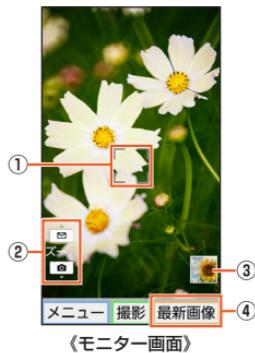
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／ビデオを撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。

- ビデオを録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- 撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、写真撮影時にシャッター音が鳴ります。ビデオ録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

撮影画面の見かた

1 待受画面で回

- モニター画面が表示されます。
- 待受画面で $\square\rightarrow$ 【カメラを使う・写真を見る】→【写真を撮る・見る】→【写真を撮る】と操作してもカメラを起動できます。



① フォーカス枠

② ズーム

$\square\rightarrow\square$ を押すとズームバーが表示され、ズームを調整できます。

③ 直前に撮影／録画したデータ

直前に撮影／録画したデータのサムネイルを表示します。

④ 最新画像

$\square\rightarrow\square$ （最新画像）を押すと最新の写真／ビデオを表示します。

$\square\rightarrow\square$ を押すと前／次のデータを表示します。

撮影前の設定をする

■ 設定を変更する

1 モニター画面（▶P.97）で $\square\rightarrow$ 【設定】

2 「写真の設定」／「ビデオの設定」／「共通の設定」

■ 「写真の設定」の場合

3 撮影サイズ

写真の撮影サイズを設定します。
「壁紙(16:9)」「8M(4:3)」

セルフタイマー

セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、写真を撮影します。
「10秒」「5秒」「2秒」「OFF」

- カウントダウン中は撮影ライトが点滅します。
- カウントダウン中に $\square\rightarrow$ を押すと、カウントダウンを中止して撮影します。

■ 「ビデオの設定」の場合

3 録画サイズ

ビデオの録画サイズを設定します。
「VGA(4:3)」「HD(16:9)」

■ 「共通の設定」の場合

3 ピント

フォーカス方式を設定します。
「顔優先」「センター」

保存先

microSDメモリカード挿入時のみ表示されます。保存先を設定します。

初期設定に戻す

カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

写真／ビデオを撮影する

■写真を撮影する場合

1 モニター画面(▶P.97)でOK(撮影)

ピントが合い、撮影されます。

撮影した写真が画面に一定時間表示され、自動で保存されます。

■ビデオを録画する場合

1 モニター画面(▶P.97)でメニュー→[切り替え]→[ビデオ]

2 OK(録画)

録画が開始されます。

3 OK(終了)

録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。



- ◎ 撮影中にカメラのレンズに指がかかってしまった場合は、メッセージが表示されます。
- ◎ 録画中に本製品を閉じると、録画が終了します。
- ◎ 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ◎ 録画中は送話口(マイク)でのみ、録音できます。

拡大鏡を利用する

カメラを使って、小さい文字などを拡大し、メインディスプレイに表示して見ることができます。

1 待受画面でメニュー→[カメラを使う・写真を見る]→[拡大鏡を使う]

対象物が拡大して表示されます。

OK(ピント):オートフォーカスの調整

電話機(静止／解除):画像を静止・解除

□/◎:ズームの調整*

[#]:ライトON/OFF

* ズームは等倍／2倍／4倍に調整できます。起動時は2倍ズームに設定されています。



◎ 30分間、何も操作しないと拡大鏡は終了します。

◎ 対象物からカメラまでの距離は約10cm離してください。

バーコードリーダーを利用する

バーコードリーダーでバーコードやQRコードを読み取ることができます。読み取った内容は、ウェブサイト表示や電話帳・メールの作成などに利用できます。

①待受画面で[メニュー]→[カメラを使う・写真を見る]→[バーコードを読み取る]

バーコードリーダー画面が表示されます。

中央の明るい枠の中に、読み取るバーコード／QRコードを表示させると自動で読み取ります。

[メニュー]:メニューを表示

[OK]:オートフォーカス

[電話機]:ライトON/OFF



◎バーコードやQRコードが汚れている、かすれている、印刷が薄いなどの場合は読み取れないことがあります。

◎バーコードリーダー画面で[メニュー]を押すと、保存データを見たり、私の情報(▶P.65)や電話帳からQRコード作成などできます。作成したQRコードは、ファイルマネージャーの「Download」フォルダに保存されます。データの確認方法について詳しくは、「すべてのデータを見る場合」(▶P.100)をご参照ください。

写真やビデオを利用する

保存されているデータを確認する

■写真／ビデオを見る場合

①待受画面で[メニュー]→[カメラを使う・写真を見る]

■写真を見る場合

②[写真を撮る・見る]→[写真を見る]

写真データ一覧画面が表示されます。

③確認したい写真を選択→[OK]

写真が表示されます。

■ビデオを見る場合

②[ビデオを撮る・見る]→[ビデオを見る]

ビデオデータ一覧画面が表示されます。

③確認したいビデオを選択→[OK]→[OK]

ビデオが表示されます。

再生中に[OK](停止)を押すと、ビデオを停止します。



《データ一覧画面》

■すべてのデータを見る場合

事前にワンタッチ機能「写真などのデータ」を登録する必要があります(▶P.117「ワンタッチ機能を登録する」)。

1 待受画面で①～③を1秒以上長く押す

フォルダ一覧画面が表示されます。



《フォルダ一覧画面》



- ◎ microSDメモリカードが挿入されている場合、ファイルマネージャーのデータ一覧画面で[SD]を押すと、microSDメモリカード内のデータを表示できます。
- ◎ データは、「音量を設定する」(▶P.123)の「音楽再生の音量を設定する」で設定されている音量で再生されます。
- ◎ データの再生／表示時に使用できるキーは、データの種類や、再生中／停止中などの状態によって異なります。
①を押して、キー操作のガイドをご確認ください。
- ◎ データによっては画面が乱れる場合や、再生／表示できない場合があります。
- 写真表示中の操作**
 - ◎ [+]を押すと、写真を拡大表示します。
 - ◎ [-]を押すと、写真を縮小表示します。
 - ◎ [□]を押すと、全画面表示します。
 - ◎ [?]を押すと、写真が左に90度回転します。
 - ◎ [⑨]を押すと、写真が右に90度回転します。

データを管理する

データ一覧画面、データ再生／表示中の画面で[メニュー]を押すと、さまざまな操作ができます。表示中の画面やデータの種類によって、メニューに表示される項目は異なります。

1 データ一覧画面(▶P.99)でデータを選択中またはデータ再生／表示中→[メニュー]

2	登録する	▶P.101「データを他の機能に登録する」	
	着信音に設定	選択中のデータを着信音に設定します。	
	送信する	▶P.101「データを送信する」	
	コピーする	ファイルをコピーします。	
	切り取る	ファイルを切り取ります。	
	削除する	ファイルを削除します。	
	テレビde写真	▶P.108「テレビde写真」	
	検索する	キーワードで検索します。	
	並び替える	ファイルを並び替えます。	
	タイトルを変更	ファイルの名称を変更します。	
	フォルダを追加	フォルダを追加します	
	表示を設定	表示方法	ファイルの表示方法をサムネイル／リストから選択します。
		絞り込み	年月ごとの表示やフォルダの一覧表示を行なうかどうかを設定します。
	詳細情報	▶P.102「データの詳細情報を表示する」	
	ショートカット追加	フォルダのショートカットを追加します。	
	スライドショー	画像をスライドショーで表示します。	

■ データを他の機能に登録する

内部ストレージ/microSDメモリカード内に保存されているデータは、待受画面などに登録して利用できます。

1 データ一覧画面(▶P.99)でデータを選択中またはデータ再生／表示中→[メニュー]→[登録する]

データの種類により表示される登録操作は異なります。画面に従って操作してください。

- ・壁紙に登録する場合は、画像を切り出す必要がある場合があります。



memo

- ◎ 機能に登録しているデータを削除した場合は、登録先の機能はお買い上げ時の設定に戻ります。
- ◎ 機能からデータを選択して登録できる場合でも、データからは機能に登録できないことがあります。

■ データを送信する

内部ストレージ/microSDメモリカード内に保存されたデータをメール/赤外線/Bluetooth®などで送信することができます。

1 データ一覧画面(▶P.99)でデータを選択→[メニュー]→[送信する]

2 1件送信	選択中のデータを送信します。
選択送信	表示中のデータを選択して送信します。
全件送信	表示中の全データを送信します。

3 使用するアプリを選択し、画面に従って操作



memo

- ◎ データによっては、送信できない場合があります。
- ◎ データ表示中に[メニュー]→[送信する]と操作すると、1件送信になります。

■ データをコピーする

内部ストレージ/microSDメモリカードのデータをコピーすることができます。

1 内部ストレージ/microSDメモリカードのフォルダ一覧画面(▶P.99)→データを選択→[メニュー]→[コピーする]

2 1件コピー	選択中のデータをコピーします。
選択コピー	表示中のデータを選択してコピーします。
全件コピー	表示中の全フォルダ/データをコピーします。

3 コピーしたいフォルダに移動→[メニュー]→[貼り付ける]→[OK]



memo

- ◎ データによっては、microSDメモリカードにコピーできない場合があります。

■ データの詳細情報を表示する

- ① データ一覧画面(▶P.99)→データを選択→[メニュー]→[詳細情報]

■ データ詳細情報画面の内容

データ／フォルダによって表示される項目は異なります。

項目	情報内容
サムネイル／アイコン	ファイル、フォルダのサムネイル／アイコン
ファイル名／フォルダ名	ファイル名／フォルダ名
サイズ	ファイル／フォルダサイズ
内包数	フォルダおよびファイルの数
解像度	画像、ビデオの解像度
時間	ビデオ、音楽の再生時間を表示
形式	ファイルのフォーマット
保存日	ファイルの最終保存日時を表示
保存先	ファイルの保存場所のパス
緯度	緯度(少数点以下5桁まで情報がない場合は非表示)
経度	経度(少数点以下5桁まで情報がない場合は非表示)

auのサービスを利用する

auのサービス	104
My au(auお客さまサポート)	104
auスマートサポート	104
遠隔操作サポートを利用する	104
あんしんフィルター for au	105
auスマートパスを利用する	106
データお預かりを利用する	107
auナビウォークを利用する	107
位置検索サポート	107
テレビde写真	108

auのサービス

My au(auお客さまサポート)

月々のご請求金額やご利用状況などを簡単に確認できるほか、My auウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

1 待受画面で[メニュー]→[auのサービスを利用する]→[My auを使う]

My auウェブサイトのトップ画面が表示されます。

2 確認する項目を選択し、画面に従って操作

現在のご利用状況、ご請求金額、ご契約内容の確認や、各種お手続きができます。

auスマートサポート

auスマートサポートでできること

24時間365日体制^{※1}のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「遠隔操作サポート」のアプリを利用して、遠隔操作によるサポートサービスを利用することができます。

その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅に訪問し丁寧にご説明する「スマホ訪問サポート^{※2}(8,500円~14,500円/回、税抜)^{※3}」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本^{※4}」プレゼントなど、安心してご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

- ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)でご確認ください。

※1 23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

※2 訪問先はお客様のご契約住所に限ります。また、別途交通費がかかる地域がございます。

※3 コースにより料金が異なります。コースやメニューの内容はauホームページをご確認ください。

遠隔操作サポートを利用する

ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパス、故障紛失サポートへの加入が必要です。

携帯電話の操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様の携帯電話の画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は局番なしの157番(au電話から／通話料無料)、
0077-7-111(一般電話から／通話料無料)までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 待受画面で[メニュー]→[auのサービスを利用する]→[遠隔操作サポートを使う]

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

あんしんフィルター for au

お子様に携帯電話を安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。

お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

・au IDでご利用の場合にはau IDが必要です。au IDの設定方法については、『かんたんマニュアル』をご参照ください。

1 待受画面でメニュー→[auのサービスを利用する]→[あんしんフィルター for auを使う]

初回起動時には確認画面や許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 [au 電話番号でログイン]／[au IDでログイン]

画面の指示に従って操作してください。

※ ご利用になるお子様のau電話番号もしくはau IDでログインしてください。

※ 旧サービス「安心アクセス」から継続でご利用されるお子様の場合のみ、au IDでログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生

- ・お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。
- ・本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。
- ・EMA※が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。

中学生

- ・お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。
- ・本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。
- ・EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。

高校生

- ・お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。
- ・本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。
- ・EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。

高校生プラス

- ・お子様の閲覧に不適切なサイトの閲覧やアプリの利用はできません。
- ・本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。
- ・EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※ 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [サービスを利用開始する]→OK

利用規約を必ずご確認ください。「端末管理アプリ」を有効にする画面が表示されます。

6 [はい]

ウェブページが表示されます。

管理者情報を登録する**1 待受画面で[メニュー]→[auのサービスを利用する]→[あんしんフィルター for auを使う]****2 [メニュー]→[管理者を登録]**

管理者登録の設定画面が表示されます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]**4 管理者IDを入力→OK(完了)→管理者ID(確認)を入力→OK(完了)→[管理者ID確認へ進む]**

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→OK(完了)→[管理者登録を行う]→OK

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

<https://anshin-access.netstar-inc.com/>

・本製品からの接続には対応しておりません。

**memo**

◎ 詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/4glte-featurephone/safety/anshin-access/>

auスマートパスを利用する

「auスマートパスプレミアム」／「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなケータイライフを提供します。

**memo**

◎ ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおおすすめします。

1 待受画面で[メニュー]→[auのサービスを利用する]→[auスマートパスを使う]

auスマートパスTOPページが表示されます。

- ・auスマートパスアプリのご利用にはau IDのログインが必要です。au IDについて詳しくは、本製品同梱の『かんたんマニュアル』をご参照ください。

データお預かりを利用する

これまでお使いのau電話から、microSDメモリカードやauサーバーを使って本製品にデータを戻す・預けることができます。

- auサーバーを利用してデータを戻す場合は、あらかじめこれまでお使いのau電話でデータをauサーバーに預けてください。auサーバーを利用する場合は、au IDの設定が必要です。
- microSDメモリカードを利用してデータを戻す場合は、あらかじめこれまでお使いのau電話でデータをmicroSDメモリカードに保存してください。

1 待受画面で[メニュー]→[auのサービスを利用する]→[データお預かりを使う]

確認画面が表示された場合は内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 SDカードを使う	本製品に保存されているデータを、microSDメモリカードに保存したり戻すことができます。
auサーバーを使う	本製品に保存されているデータをauサーバーに預けたり、auサーバーから戻すことができます。
機種変更	機種変更時のデータ移行としてご利用できます。

auナビウォークを利用する

鉄道やバス、飛行機、フェリー、車などさまざまな交通手段と徒步を組み合わせて最適なルートをご案内します。

徒步ルートのときは音声とバイブレータでわかりやすくナビゲートするので、初めて訪れる場所でも安心です。

1 待受画面で[メニュー]→[auのサービスを利用する]→[auナビウォークを使う]

2 画面に従って操作

位置検索サポート

位置検索サポートをご利用になると、au電話の置き忘れや紛失時に、お客さまセンターがお客様に代わってau電話のおおよその位置を検索したり、画面のロックなどをかけることができます。

■ お客さまセンターに電話して位置検索・遠隔ロックをかける／解除する

一般電話からは **0077-7-113**(通話料無料)

au電話からは 局番なしの**113**(通話料無料)

受付時間 24時間(年中無休)

・音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

■ 位置検索の設定を切り替える

本製品は、あらかじめ位置が検索できるように位置測位設定が「許可する」に設定されています。

次の操作から位置測位設定を「許可しない」へ変更することができます。

1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[その他の設定を行う]→[位置情報を設定する]

2 [ケータイ探せて安心サービス]→[許可する]／[許可しない]→[OK]

■ 遠隔ロックご利用にあたっての注意

・遠隔ロックは、ご契約者からのお申し出があった場合にご利用いただけます。

・本製品の電源が入っていない場合や、本製品がサービスエリア外にある場合、「機内モード」が設定されている場合は、遠隔ロックを起動できません。また、電波の弱い場所に本製品がある場合は、遠隔ロックを起動できない場合があります。

・au ICカードが挿入されていない場合や、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、遠隔ロックの起動や、遠隔ロックの解除ができません。

- ・本製品を紛失した場合は、遠隔ロックに加えて紛失時の手続きを行うことをおすすめします。紛失時の手続きについては、「アフターサービスについて」(▶P.160)をご参照ください。

■ 遠隔ロックによる制限内容

- 遠隔ロック中は、次のように本製品の使用が制限されます。
- ・「ロック」が一時的にかかります。
 - ・待受画面は表示されず、「リモートロック中」と表示されます。
 - ・目覚まし時計は、起動しません。



memo

- ◎ 位置検索について月額使用料は無料ですが、1回あたり300円(税抜)の検索料がかかります。
※ 故障紛失サポート、auスマートパス、auスマートパスプレミアム、auスマートサポートのいずれかにご加入のお客様は検索料は無料です。
- ◎ 遠隔ロック中は無料でご利用いただけます。
- ◎ 遠隔ロック中でも、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へは、[緊急通報]→番号を入力→□(発信)と操作すると電話をかけることができます。緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」「186」を入力してから電話をかけることもできます。

テレビde写真

「テレビde写真受信機(別売)」をテレビに接続すると、本製品に保存されている写真などをワイヤレスでテレビに映すことができます。

1 テレビde写真受信機(別売)をテレビに接続

- ・詳細はテレビde写真受信機(別売)の取扱説明書をご参照ください。

2 テレビに映したい画面を本製品で表示

3 TV写真→【映す】

4 テレビ画面に表示された「au_XXXXXX」を選択→OK

- ・「使い方の説明」「機能の説明」を選択すると、テレビde写真のガイドを確認することができます。
- ・待受画面で「テレビ接続中」を選択するかテレビde写真キーを押すと、写真一覧画面への遷移、接続の切断、接続先の変更ができます。



memo

- ◎ Miracastに対応した受信機でも本機能をご利用になれます。
※ 受信機によっては利用できない場合があります。

- ◎ テレビde写真受信機(別売)接続中は、本製品から音量調整できない場合があります。

便利な機能

便利な機能	110
簡易ライトを利用する	110
スクリーンショットを撮影する	110
メモ帳を利用する	110
カレンダーを利用する	111
目覚まし時計を利用する	112
電卓で計算する	112
音声レコーダーを利用する	113
漢字チェックを利用する	113
音声読み上げを利用する	114
緊急ブザーを利用する	115
ワンタッチキーを利用する	116
歩数計を利用する	118
音楽を聴く	119
LINEを利用する	119

便利な機能

簡易ライトを利用する

1 待受画面で[メニュー]→[便利な機能を使う]→[ライトを使う]

簡易ライトが点灯します。

待受画面で[田]を1秒以上長く押しても簡易ライトが点灯します。

□、[履歴]を押すか、本製品を閉じるか、または約3分経過すると消灯します。



◎ 簡易ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様に簡易ライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

スクリーンショットを撮影する

1 □と□を同時に1秒以上長く押す

表示している画面のスクリーンショット(映っている画面を画像として記録)を撮影します。

- 撮影したスクリーンショットは待受画面で[メニュー]→[カメラを使う・写真を見る]→[写真を撮る・見る]→[写真を見る]と操作すると確認できます。



◎ アプリや機能によってはスクリーンショットを撮影できない場合があります。

メモ帳を利用する

メモ帳を登録する

1 待受画面で[メニュー]→[便利な機能を使う]→[メモを使う]

メモ帳一覧画面が表示されます。

メモ帳が登録されていない場合は、「登録されているメモがありません」と表示されます。

2 [メニュー]→[新規に作成]→[内容を入力]→[OK]

・メモ帳を削除する場合は、メモ帳を選択→[メニュー]→[メモを削除]→[[はい]]→[OK]と操作します。

・メモ帳が登録されていない場合は、[電話帳](新規作成)を押しても新規に作成できます。

メモ帳を確認する／編集する

1 メモ帳一覧画面でメモを選択→[OK](詳細)

メモ詳細画面が表示されます。

メモ帳の編集を行う場合は、[電話帳](編集)を押します。



◎ メモ詳細画面の電話番号／メールアドレス／URLを選択→[OK]と操作すると、電話帳登録や電話発信、SMS／メールの作成、サイトへの接続などが行えます。

カレンダーを利用する

カレンダーを表示する

カレンダーを1ヶ月単位／2ヶ月単位で表示できます。

1 待受画面で[メニュー]→[便利な機能を使う]→[カレンダーを使う]

カレンダー画面が表示されます。

電話帳(切替)を押すたびにカレンダー表示(1ヶ月表示／2ヶ月表示／予定一覧)を切り替えることができます。

2 予定のある日付を選択→OK

当日の予定一覧が表示されます。

3 予定を選択→OK

予定の詳細が表示されます。

■ カレンダー画面の見かた



①年月表示

②選択されている日付

四角い枠が表示されます。

③予定

予定がある場合に表示されます。

④用件

選択した日付に登録されている用件が表示されます。

電話帳で「誕生日」を設定している場合は、名前が表示されます。

(▶P.70)

■ 予定を新規登録する

1 カレンダー画面で予定を登録したい日付を選択

2 メニュー→[新規に作成]

3 必要な項目を設定

4 電話帳(登録)→OK

■ カレンダー画面のメニューを利用する

1 カレンダー画面で[メニュー]

2 新規に作成 ▶P.111「予定を新規登録する」

今日に戻る 本日の日付に戻ります。

目覚まし時計を利用する

指定した時刻を音声読み上げや鳴動音、バイブレータでお知らせします。

1 待受画面で[メニュー]→[便利な機能を使う]→[目覚まし時計を使う]

目覚まし時計一覧画面が表示されます。

目覚まし時計が登録されていない場合は、「登録されている目覚まし時計がありません」と表示されます。

2 [メニュー]→[新規に作成]

- ・目覚まし時計が登録されていない場合は、[電話帳](新規作成)を押しても新規に作成できます。

3 画面に従って、時刻／時刻の音声読み上げ／繰り返し設定／音を設定

4 設定内容を確認して[電話帳](登録)→[OK]

- ・設定内容の確認画面で、目覚まし時計の名称、スヌーズ、バイブルーターのパターンを設定できます。
- ・目覚まし時計の編集を行う場合は、目覚まし時計一覧画面で目覚まし時計を選択→[電話帳](詳細)→編集する項目を選択→[OK](編集)と操作します。
- ・目覚まし時計を削除する場合は、目覚まし時計一覧画面で目覚まし時計を選択→[削除]→[削除する]→[はい]→[OK]と操作します。



memo

◎ 目覚まし時計一覧画面で、すでに登録済みの目覚まし時計を選択中に[OK]を押すと、「ON」／「OFF」が切り替わります。

◎ 本製品の電源が切れている状態でも、「設定時刻に電源を入れる」(▶P.112)が設定されているときは、設定した時刻が近づくと電源が入り目覚まし時計が鳴動します。

目覚まし時計を設定した時刻になると

- ◎ 音声読み上げや鳴動音、バイブルーターでお知らせします。
- ・目覚まし時計を停止するにはいずれかのキーを押します。

目覚まし時計のメニューを利用する

1 目覚まし時計一覧画面で[メニュー]

新規に作成	▶P.112「目覚まし時計を利用する」
編集する	目覚まし時計を編集します。
削除する	目覚まし時計を削除します。
目覚まし設定	目覚まし時計を優先する マナーモード中に目覚まし時計を鳴動させるかどうかを設定します。
設定時刻に電源を入れる	電源が切れている状態時に、設定した時刻に電源を入れ、目覚まし時計を鳴動させるかどうかを設定します。

電卓で計算する

1 待受画面で[メニュー]→[便利な機能を使う]→[電卓を使う]

2 割り当てられたキーを押して計算する

計算結果が画面に表示されます。



◎ 入力桁は10桁までです。また、10桁を超える計算結果はエラー表示となります。

音声レコーダーを利用する

音声レコーダーで録音する

1 待受画面で[メニュー]→[便利な機能を使う]→[音声レコーダーを使う]

音声レコーダー画面が表示されます。

2 [録音する]

- microSDメモリカードが取り付けられているときは、確認画面が表示されます。画面に従って操作してください。

3 [OK(録音)]

録音を開始します。

4 [OK(停止)]→[OK]

録音を終了し、録音データが保存されます。



memo

◎ 録音中に本製品を閉じると、録音が終了します。

◎ 録音できる時間は最大12時間です。

◎ 長時間録音される場合は、充電しながら録音することをおすすめします。

録音の設定をする

1 音声レコーダー画面で[録音する]

2 [メニュー]

3 音質を変える

音質を変更します。

保存先

録音するデータの保存先を設定します。

録音したデータを再生する

1 音声レコーダー画面で[再生する]→[データを選択]

内部ストレージとmicroSDメモリカードのデータを切り替えるには
[電話帳](SD/本体)を押します。

2 [OK(再生)]

録音データが再生されます。

再生中に[OK(停止)]を押すと再生を一時停止します。一時停止中に[OK(再生)]を押すと再生を再開します。



memo

◎ 再生中に[OK(停止)]→[時間を指定]→再生ポイント(時／分／秒)を入力→[OK]と操作すると、再生ポイントを指定して再生できます。

漢字チェックを利用する

画数の多い漢字などを画面に大きく表示して確認することができます。

1 待受画面で[メニュー]→[便利な機能を使う]→[漢字チェックを使う]

2 チェックしたい漢字を入力

チェック画面が表示され、入力した文字が1文字ずつ表示されます。

・[音量]/[見回]を押すと、表示する文字を切り替えることができます。



memo

◎ チェック画面で[OK(編集)]を押すと、入力した文字を編集できます。

音声読み上げを利用する

本製品には音声読み上げ機能が搭載されています。メールの内容などを音声でお知らせします。

音声読み上げ方法を「手動読み上げ」に設定した場合は、音声読み上げが可能な画面で「」が表示され、を押すと音声読み上げを行います。音声読み上げ方法を「自動読み上げ」に設定すると、「」が表示中の画面にて自動で音声読み上げを行います。

※画面によっては、「」または「」表示中の画面でも読み上げない場合があります。

■ 音声読み上げをご利用になる前に

- ・単語の読みかたを登録しておくことができます。
- ・インターネットのサイトは読みかたが表示内容と異なることがあります。
- ・表示内容により、文字を読まなかったり、読みかたを誤ったり、聞きづらい音やアクセントになったりする場合があります。
- ・句読点やスペースがある場合、句読点やスペースのある位置で区切って読み上げます。
音声読み上げ中にを押すと、音声読み上げの音量を調節することができます。
- ・電話帳、私の情報(▶P.65)などで登録されている名前をお知らせする場合は、読みの登録内容を優先して使用します。
本製品を閉じているときは、を1秒以上長く押すと、サブディスプレイの内容※を読み上げます。
※サブディスプレイの表示内容によっては、一部、読み上げない内容もあります。
- ・アプリや歩数計など、一部、音声読み上げを行わない機能もあります。
- ・最大2万文字まで読み上げることができます。

音声読み上げを設定する

① 待受画面で $\text{[メニュー]}\rightarrow\text{[設定を行う]}\rightarrow\text{[便利機能を設定する]}$
 $\rightarrow\text{[音声読み上げを設定する]}$

② 読み上げ方法を設定する	「自動読み上げ」「手動読み上げ」「読み上げない」
音量を設定する	「音量：1」～「音量：7」 •  または  で音量を変更できます。
声を設定する	「女性（高）」「女性（低）」「男性（高）」「男性（低）」
速度を設定する	「速い」「やや速い」「普通」「やや遅い」「遅い」
出力先を設定する	「スピーカー」「受話口」 ※「受話口」は、受話部からの出力のことを示します。 音声読み上げ時の単語の読みかたを100件まで登録できます。 $\text{[メニュー]}\rightarrow\text{[新規作成]}\rightarrow\text{[単語を入力する]}\rightarrow\text{[OK]}$ (編集) →単語を入力する→読みを入力する→  (保存) $\rightarrow\text{[OK]}$ • 単語は全角50文字／半角50文字以内、読みは全角ひらがなで50文字以内まで入力できます。 $\text{[メニュー]}\rightarrow\text{[削除]}\rightarrow\text{[はい]}$ $\rightarrow\text{[OK]}$ と操作すると、登録した単語を削除できます。
単語の読み方を登録する	



- ◎ マナーモードを設定すると、出力先は「受話口」（受話部）になります。
 ◎ 半角で単語を入力しても、登録後は全角に変更されます。

緊急ブザーを利用する

△を2秒以上長押ししたときに、緊急ブザーを鳴らすかどうかを設定します。「メール通知」を「通知する」に設定している場合、緊急ブザーは鳴動と同時に、緊急ブザーが鳴られたことと、現在の位置情報をワンタッチキーに登録した相手(▶P.116)にメールでお知らせします。最初はやや小さい音量で鳴動し、3秒後に大音量で鳴動します。簡易ライトも5秒間点滅します。

- 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[便利機能を設定する]
→[緊急ブザーを設定する]

2 緊急ブザーの利用を設定	緊急ブザーを鳴動させるかどうかを設定します。
鳴動時のメール通知を設定*	鳴動時のメールを通知させるかどうかを設定します。
メール通知の説明を読む	メール通知の説明を確認できます。

* メール通知の説明を読んで同意すると、設定を変更できるようになります。

■緊急ブザーを止めるには

鳴動中の緊急ブザーを止めるには、いずれかのキーを押してください。

緊急ブザーは、いずれかのキーを押すか、電池残量がなくなるまで鳴動し続けます。



memo

◎緊急ブザー使用時は、お客様情報の送信を可能にするため、次の設定値を有効な状態に変更します。

- 位置情報
- データ通信

※緊急ブザー使用後、上記設定値は元に戻りません。有効な状態を継続します。

◎本体のスピーカーからの距離が10cm程度の場合、音量は約90dB(デジベル)以上になります。また、周囲の環境などによっては、周辺の第三者にブザー音が聞き取りにくい場合があります。

◎耳元で緊急ブザーを鳴らさないでください。耳に障がいを起こす原因になります。

◎マナーモード設定中やイヤホンなどを接続している場合でも、緊急ブザーはスピーカーから鳴動します。

◎ブザー音の音量は調節できません。

◎緊急ブザーは犯罪防止や安全を保証するものではありません。万一の際の損害について当社としては何ら責任を負うものではありません。

◎お子様などの誤操作によって緊急ブザーが鳴動する可能性がありますので、取り扱いには十分にご注意ください。

■ 位置測位とメール送信について

本製品の緊急ブザーが鳴動したときに、現在地通知が起動し、ワンタッチキー¹～³に登録した相手のメールアドレスに現在地(GPS情報)がメールで送信されます。

現在地通知を起動させるには、通知する相手をワンタッチキーに登録する必要があります。(▶P.116「ワンタッチキーに相手を登録する」)



◎ 次の場合、現在地通知は起動しません。

- ・サービスエリア外や電波の届かない場所にいる場合
- ・ワンタッチキーに相手を登録していない場合／ワンタッチキーに相手のメールアドレスを登録していない場合
- ・メールの初期設定を行っていない場合

※ その他、一部処理実行中などで起動できない場合があります。

◎ 現在地通知は、各種制限設定にかかわらず起動します。

◎ ワンタッチキーに登録した相手に送信するメールには、次の内容が自動入力されます。

宛先:送信する相手のアドレス

件名:「【緊急】緊急ブザーが作動しました」

本文:「携帯(090-XXXX-XXXX)の緊急ブザーが作動しました。下記URLから緊急ブザーが作動した場所を地図上で確認が可能です。」

現在地URL

作動日時(24時間表記)

◎ お客様のご使用環境によっては、正確なGPS情報が取得できなかったり、GPS情報の取得に時間がかかる場合があります。

ワンタッチキーを利用する

よく連絡する相手の方の連絡先やよく使う機能を、最大3件までワンタッチキー¹～³に登録できます。簡単な操作でワンタッチキーに登録した相手に電話をかけたり、登録した機能(ワンタッチ機能)を起動したりできます。

緊急ブザーが鳴らされた場合、緊急ブザー鳴動のお知らせと、現在の位置情報をワンタッチキー¹～³に登録した相手のメールアドレスにメールで送信することができます。

さらにワンタッチキー¹に登録した相手のメールアドレスには、歩数計の歩数値と充電状況を毎日メールで送信することができます。

また、待受画面に画像やアイコン、名前などを表示することもできます。

ワンタッチキーに相手を登録する

1 待受画面で¹～³

2 [相手を登録]

■ 電話帳から選ぶ場合

3 [電話帳から選ぶ]

電話帳一覧画面が表示されます。

4 登録したい連絡先を選択→OK

- ・以降、操作³に進みます。

■ 新規に電話帳から登録する場合

3 [新規に電話帳を登録する]

電話帳登録画面が表示されます。

4 名前や電話番号などを設定(▶P.70「電話帳に登録する」)

5 [電話帳の画像を表示]／[名前を表示]／[何も表示しない]

ワンタッチキー[△]にメールアドレスが登録された相手を登録した場合、歩数値と充電状況を毎日メールで送るかどうかの活動状況通知確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

6 [OK]

テストメールを送信するかどうかの確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。



◎「電話帳から選ぶ場合」の操作④で選択した連絡先に複数の電話番号／メールアドレスが登録されている場合は、電話番号／メールアドレスを選択する画面が表示されます。

ワンタッチキーに登録した相手に連絡する

ワンタッチキーに登録した相手に簡単に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で¹～³

2 電話をかける	電話をかけます。
メールを送る	メールアドレスを宛先としたメール作成画面を表示します ▶P.77「メールを送る」
SMSを送る	電話番号を宛先としたSMS作成画面を表示します。 ▶P.87「SMSを送る」



◎操作②で[□](詳細)を押すと、電話帳詳細画面が表示されます。

■ワンタッチキーですぐに電話をかける

1 待受画面で¹～³を1秒以上長く押す

ワンタッチキーに登録した相手に電話がかかります。

ワンタッチ機能を登録する

1 待受画面で¹～³

2 [機能を登録]

3 登録したい機能を選択→OK

4 [機能名を表示]／[何も表示しない]

5 [OK]

登録したワンタッチ機能を起動する

1 待受画面で¹～³を1秒以上長く押す

ワンタッチ機能が起動します。

待受画面で¹～³→[起動する]と操作してもワンタッチ機能を起動できます。

ワンタッチキーに登録した相手やワンタッチ機能を変更する

1 待受画面で¹～³→電話帳(変更)

2 待受画面での表示を変更	ワンタッチキーに登録した相手／機能の待受画面の表示を変更します。
登録内容を変更	ワンタッチキーに登録した相手／機能を変更します。
登録を解除	ワンタッチキーに登録した相手／機能の登録内容を解除します。
活動状況通知を変更※	▶P.118「活動状況通知を設定する」

※ ワンタッチキー[△]に登録した相手の場合のみ表示されます。

活動状況通知を設定する

ワンタッチキー△に登録した相手に、歩数計の歩数値と充電状況(前日に充電したかどうか)を毎日送信するかどうかを設定します。

1 待受画面で△→電話帳(変更)→[活動状況通知を変更]

2 [通知する]/[通知しない]→[OK]

歩数計を利用する

本体に内蔵されたセンサーで歩数を計り、歩数計として利用できます。

お買い上げ時、歩数計は「利用する」に設定されています。

なお、歩数計を使用したり本体を充電したりしたときに、あらかじめ登録したワンタッチキー△の相手に自動で歩数値をメールで送信(毎日歩数通知)することができます。(▶P.116)



◎ 次のような場合、正確に歩行を測定できないことがあります。

- ・本製品が不規則に動くとき
 - 体に当たってはねるかばんの中など
 - 首や腰、かばんからぶら下げたとき
- ・不規則な歩行をしたとき
 - すり足歩行、サンダル、草履などの履物での歩行
 - 混雑した街を歩くなどの歩行の乱れ
- ・上下運動や振動の多いところで使用したとき
 - 立ったり、座ったりする動作
 - 歩行以外のスポーツ
 - 階段や急斜面の昇り降り
 - 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗車中の振動

◎ 振動する台の上や連続する振動が伝わるような場所に置くと、歩数としてカウントされる場合があります。

◎ 歩き始めは歩行かどうかの判断を行うため、10歩程度(5秒以上)の歩行を検出するまで、カウントを始めません。カウント開始時に、それまでに取得した歩数も合わせて表示します。

◎ 日付が変更されると、前日までのデータを記録し、歩数カウントをゼロから開始します。

◎ 計測した歩数や歩行距離、消費カロリーはあくまでも目安です。基礎代謝量は含まれません。

利用設定をする

1 待受画面で□→[歩数計を使う]

歩数計メニュー画面が表示されます。

2 [歩数計を設定する]→[計測に使う情報を設定する]

3 [誕生日を設定する]→誕生日を入力→[OK]

4 [性別を選択]→性別を選択→□→[OK]

5 [体重を設定する]→体重を入力→[OK]

6 [身長を設定する]→身長を入力→[OK]

7 [歩幅を設定する]→歩幅を入力→[OK]

歩数計を利用する

1 歩数計メニュー画面で[歩数計を設定する]

2 [歩数計を利用する]→[利用する]→[OK]

歩数計の利用をやめる

1 歩数計メニュー画面で[歩数計を設定する]

2 [歩数計を利用する]→[利用しない]→[OK]

歩数や日々の記録を見る

1 歩数計メニュー画面で[歩数や日々の記録を見る]

歩数データ画面が表示されます。



- ◎ 歩数データ表示中に電話機(カレンダ)を押すと、歩数の記録を確認できます。
- ◎ 歩数データ画面でメニュー→[今日に戻る]と操作すると、本日の日付に戻ります。

歩数計の記録と設定を削除する

歩数計の記録を削除し、設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 歩数計メニュー画面で[歩数計を設定する]
- 2 [記録と設定を削除する]→[はい]→[OK]

東海道五十三次を利用する

東海道五十三次の行程を使用して、歩数計で測定した結果を元に日本橋からゴールの京師を目指して旅をします。

歩数に応じて歌川広重の東海道五十三次の浮世絵を手に入れることができます。

- 1 歩数計メニュー画面で[東海道五十三次を歩く]→OK(開始)

東海道五十三次画面が表示されます。

歩数計が設定されていない場合は、確認画面が表示されます。「はい」を選択して歩数計を設定してください。

東海道五十三次のメニューを利用する

- 1 東海道五十三次画面でメニュー

2 浮世絵を見る	入手した浮世絵の一覧や画像を確認できます。
足どりを見る	本日の足どりや過去の完歩記録を確認できます。
壁紙にする	東海道五十三次の歩数計を壁紙に設定します。
再出発する	日本橋から再出発します。



- ◎ 入手した浮世絵の一覧や画像は、東海道五十三次画面で電話機(浮世絵)を押しても確認できます。

音楽を聴く

音楽を再生できます。

- 1 待受画面でメニュー→[便利な機能を使う]→[音楽を聴く]
音楽一覧画面が表示されます。
- 2 音楽一覧画面→楽曲を選択→OK



◎ 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

LINEを利用する

LINEはいつでも、どこでも、通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。

- LINEを利用するには事前にアプリのアップデートと、アカウントの登録が必要となります。利用方法などの詳細については、LINEのサイトや、LINEの画面→[その他]→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。
- LINEは、ポインター対応アプリです。

- 1 待受画面でメニュー→[LINEを使う]

LINEのトップページが表示されます。

初回起動時にはアップデートを行い、ログイン画面を表示します。新規登録時には利用規約などが表示されます。内容をご確認の上、画面に従って操作してください。



◎ ゲームなど一部の機能は本製品では利用できません。

機能設定

機能設定	122
設定メニューを表示する	122
au IDの設定をする	122
画面の設定をする	122
音・バイブ・ランプの設定をする	123
ロックの設定を行う	125
データ通信の設定をする	125
便利機能を設定する	126
端末を初期化する	127
その他の設定をする	127

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 待受画面で[メニュー]→[設定]を行う

設定メニューが表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	概要	参照先
au IDを設定する	au IDを設定します。	P.122
画面を設定する	壁紙やディスプレイの明るさの設定、フォントサイズの切り替えなどを行います。	P.122
音・バイブ・ランプを設定	マナーモードの設定や着信時の音量や音およびバイブレータのパターンなどを変更できます。	P.123
ロックの設定を行う	ロック画面や機能ロックを設定します。	P.125
データ通信の設定をする	データ通信や機内モードなどを設定します。	P.125
通話の機能を設定する	通話に関する設定をします。	P.66
便利機能を設定する	エコモード設定や音声読み上げなどを設定します。	P.126
端末を初期化する	本製品の初期化を行います。	P.127
その他の設定を行う	SIMカードロック、データ容量、位置情報、日付と時刻、アップデートおよび端末情報などを設定します。	P.127

au IDの設定をする

1 設定メニュー→[au IDを設定する]

以降の操作は画面に従って操作してください。

- 「au IDを設定する」の詳しい手順については『かんたんマニュアル』をご参照ください。

画面の設定をする

1 設定メニュー→[画面を設定する]

壁紙を設定する	待受画面の壁紙などを設定します。	
時計を設定する	時計の大きさや歩数計の表示などを設定します。	
画面の明るさを設定する	明るさのレベルを調整します。 ・「自動調整」に設定すると、周囲の明るさを感じて、ディスプレイの明るさを調整します。	
画面の点灯時間を設定する	本製品を操作しないときに画面が自動消灯するまでの時間を設定します。	
キーの点灯を設定する	キー照明を点灯するかどうかを設定します。	
文字の大きさを設定する	文字サイズを「普通」または「大きい」に設定します。	
名前を大きく表示する※	電話および電話帳使用時に、名前の表示を大きくするかどうかを設定します。	
サブディスプレイを設定する	時計を設定する	サブディスプレイの時計を「デジタル」または「アナログ」に設定します。
	名前を表示する	サブディスプレイ画面に着信相手を表示するかどうかを設定します。

補助機能を設定する	画面の色を反転する	画面の色を反転するかどうかを設定します。
	画面の色を補正する	画面の色を補正します。
	サブディスプレイの濃淡補正	サブディスプレイ表示の濃淡を設定します。

※「文字の大きさを設定する」で「大きい」を選択したときのみ選択できます。

音・バイブ・ランプの設定をする

① 設定メニュー→[音・バイブ・ランプを設定]

2	音量を設定する	着信の音量を設定する	着信音の音量を設定します。
	メール・通知の音量を設定	メール受信音や通知の音量を設定します。	
	通話の音量を設定する	通話の音量を設定します。	
	目覚ましの音量を設定する	目覚まし時計の音量を設定します。	
	音楽再生の音量を設定する	音楽再生の音量を設定します。	
	操作音の音量を設定する	キー操作音の音量を設定します。	
	マナーモードを設定する	▶P.124「マナーモードを設定する」	
着信音を設定する	着信音を設定します。		
着信時にバイブを鳴動	着信時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。		
バイブのパターンを設定	バイブレータの動作パターンを設定します。		
着信時のランプを設定する	着信時の充電／通知ランプの色や点滅などを設定します。		
お知らせランプを設定する	新着通知受信時に通知を確認するまで充電／通知ランプを点滅させるかどうかを設定します。		

待ちうたを設定する	ブラウザを起動して待ちうたのサイトを表示します。
メールの音を設定する	着信音を設定
	バイブを設定
	ランプを設定
SMSの音を設定する	通知方法を設定する
	着信音を変更する
	振動方法を設定する
	文字サイズを設定する
	署名をつける
	署名を編集する
	受信拒否を設定する

他の音を設定する	ロック画面の音を設定する	ロック画面の動作時に音を鳴らすかどうかを設定します。
キーの操作音を設定する	キーを操作したときに音を鳴らすかどうかを設定します。	
開けたときの音を設定する	本製品を開けたときに音を鳴らすかどうかを設定します。	
閉じたときの音を設定する	本製品を閉じたときに音を鳴らすかどうかを設定します。	
充電を始めたときの音	充電を始めたときに音を鳴らすかどうかを設定します。	
充電が終わったときの音	充電が終わったときに音を鳴らすかどうかを設定します。	

マナーモードを設定する

マナーモードを設定するだけで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

- 1 設定メニュー→[音・バイブ・ランプを設定]→[マナーモードを設定する]

マナーモード設定メニューが表示されます。

- 2 マナーモードを選択→OK→[OK]



- ◎自動車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。運転中はマナーモードを「ドライブモード」に設定してください。
- ◎待受画面で[□]を1秒以上長押しすると、マナーモードを設定できます。
- ◎マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始音／終了音は鳴動します。また、目覚まし時計の設定によっては目覚まし音も鳴動します。
- ◎「ドライブモード」を選択した場合、着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。
- ◎マナーモード設定中に消音の状態でデータが再生された場合、機能によっては、再生中に[+]/[□]を押すと、音量を調節できます。

ロックの設定を行う

1 設定メニュー→[ロックの設定を行う]

2 ロック画面を表示する	本製品の電源を入れたときや、本製品を開いたとき、再度画面を点灯させたときに、画面ロックの暗証番号の入力が必要になるように設定します。ロックの解除方法として、画面ロックの暗証番号を設定できます。
機能ロックを設定する	電話帳、Eメール、SMSを起動するときに、機能ロック番号の入力が必要になるように設定します。機能ロック番号を入力し、「電話帳ロック」「Eメールロック」「SMSロック」からそれぞれの機能に設定できます。
機能ロック番号を設定する	機能ロック番号を設定／変更します。



- ◎設定した画面ロックの暗証番号や機能ロック番号はお忘れにならないようお気をつけください。

データ通信の設定をする

1 設定メニュー→[データ通信の設定をする]

2 機内モードを設定する	▶P.126「機内モードを設定する」
Wi-Fiを設定する	▶P.139「無線LAN(Wi-Fi®)機能」
Bluetoothを設定する	▶P.137「Bluetooth®機能」
データ通信を行う	データ通信を行うかどうかを設定します。
au通信品質レポート	エリア品質情報送信を設定 エリア品質情報送信をさらなる通信品質向上のため、音声通話やデータ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所(GPS位置情報)を検知・収集し、auに自動送信する機能です。 有効にする エリア品質情報送信を有効にするかどうかを設定します。
	機能の説明を表示する 本機能の説明を表示します。 プライバシーポリシー プライバシーポリシーを表示します。
バージョン	バージョンを確認できます。
データ使用量を見る	データ通信の使用量を確認できます。
データ通信制限を行なう	データ通信を使用するアプリを制限できます。

■ 機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてOFFになります。

- 1 設定メニュー→[データ通信の設定をする]→[機内モードを設定する]→[設定する]→[OK]

機内モードが設定されると、ステータスバーに「」が表示されます。



- ◎ 機内モードがONの場合でも無線LAN(Wi-Fi®)/Bluetooth®機能をONにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎ 機内モードを設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に設定が解除されます。
- ◎ 機内モードを設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能による通信などもOFFになります。

■ 便利機能を設定する

- 1 設定メニュー→[便利機能を設定する]

2 エコモードを利用する	▶P.126「エコモードを利用する」
光で操作ナビを利用する	▶P.51「光で操作ナビを利用する」
音声読み上げを設定する	▶P.114「音声読み上げを利用する」
緊急ブザーを設定する	▶P.115「緊急ブザーを利用する」
サイドキーを設定する	▶P.126「サイドキーを無効にする」
ポインターの通知を設定	ポインター起動時に通知を表示するかどうかを設定します。

■ エコモードを利用する

エコモードに設定することで電池の消耗を抑えることができます。

- 1 設定メニュー→[便利機能を設定する]→[エコモードを利用する]
- 2 [利用する]→[設定内容を確認]→[OK]→[OK]

■ サイドキーを無効にする

本製品を閉じたときのサイドキー(, , )操作を無効にします。

- 1 設定メニュー→[便利機能を設定する]→[サイドキーを設定する]
- 2 [無効にする]→[OK]



- ◎ サイドキーを無効にして本製品を閉じていても、目覚まし時計などのお知らせ音はサイドキーを押して止めることができます。

端末を初期化する

① 設定メニュー→[端末を初期化する]

② [はい]→[はい]

- ・ロックの設定によっては、ロック解除が必要な場合があります。



- ◎ 端末の初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。
端末の初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ 「SDカードの初期化」の画面が表示された場合は、「はい」を選択すると microSDメモリカード内のデータを消去できます。
- ◎ SIMカードロックの設定(▶P.127)は、端末の初期化を実行してもリセットされません。
- ◎ 端末の初期化を実行すると、デジタル著作権管理(DRM)コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。

他の設定をする

① 設定メニュー→[他の設定を行う]

他の設定メニューが表示されます。

② SIMカードロックの設定	▶P.127「SIMカードロックを設定する」
データ容量を確認する	▶P.133「ストレージに関する設定をする」
位置情報を設定する	▶P.127「位置情報の設定をする」
日付と時刻を設定する	▶P.128「日付と時刻の設定をする」
アップデートする	▶P.158「ソフトウェアを更新する」
端末の情報を表示する	▶P.128「端末の情報を表示する」

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときに PINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.30)をご参照ください。

① 他の設定メニュー→[SIMカードロックの設定]→[SIMカードをロックする]→[ロックする]

② SIMカードのPINコードを入力→電話帳(確定)→[OK]

■ PINコードを変更する

① 他の設定メニュー→[SIMカードロックの設定]→[PINコードを変更する]

② 現在のPINコードを入力→電話帳(確定)

③ 新しいPINコードを入力→電話帳(確定)

④ もう一度新しいPINコードを入力→電話帳(確定)→[OK]

位置情報の設定をする

■ アプリの位置情報リクエストを許可する

① 他の設定メニュー→[位置情報を設定する]

② [位置情報を利用する]→[利用する]→[OK]

データ収集についての確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。



○ 確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。「同意する」／「同意しない」の設定によって、設定されるモードが異なります。

■位置情報取得の精度を切り替える

- ① その他の設定メニュー→[位置情報を設定する]
- ② [位置情報のモードを設定]→[高精度]/[ネットワークのみ]/[GPSのみ]→[OK]



GPS機能について

- ◎電池の消耗を抑える場合は、「モード」を「ネットワークのみ」に設定してください。GPS機能がOFFになります。
- ◎電波が良好な場所でご利用ください。

■位置検索サポートの設定を切り替える

位置検索サポートで本製品の位置検索を許可するかどうかを設定します。

位置検索サポートについて詳しくは、「位置検索サポート」(▶P.107)をご参照ください。

- ① その他の設定メニュー→[位置情報を設定する]
- ② [ケータイ探せて安心サービス]→[許可する]/[許可しない]→[OK]

■日付と時刻の設定をする

- ① その他の設定メニュー→[日付と時刻を設定する]

② 自動で時刻を設定する	ネットワークから提供される日付・時刻情報を使用して、自動で補正するかどうかを設定します。
日付を設定する	日付を設定します。
時刻を設定する	時刻を設定します。
24時間表示を行う	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。

■端末の情報を表示する

電話番号や電池残量などの情報を確認できます。

- ① その他の設定メニュー→[端末の情報を表示する]

② 端末の状態	電池の状態 電池残量	本製品が充電中かどうかを表示します。 電池残量を表示します。
SIMのステータス		「ネットワーク」、「モバイルネットワーク種類」、「サービスの状態」、「モバイルネットワークの状態」、「電話番号」、「IMEI」、「IMEI SV」を表示します。
IMEI情報		「IMEI」、「IMEI SV」を表示します。
IPアドレス		IPアドレスを表示します。
Wi-Fi MACアドレス		Wi-Fi MACアドレスを表示します。
Bluetoothアドレス		Bluetoothアドレスを表示します。
稼働時間		本製品の稼働時間を表示します。
SIMカードの状態		▶P.163「SIMロック解除」
法的情報		法的情報を表示します。
使用情報		本製品の使用情報を送信するかどうかを設定します。
モデル番号		バージョンや各番号を確認できます。
OSバージョン		
カーネルバージョン		
ビルド番号		
認証情報		認証情報を表示します。

ファイル管理

ファイル管理	130
本製品の保存領域について	130
microSDメモリカードを利用する	130
microUSBケーブルでパソコンと接続する	133
ストレージに関する設定をする	133

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリや各アプリが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。



◎ アプリによってはmicroSDメモリカードに保存するメニュー やメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。



◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください。フォーマットについて詳しくは、「microSDメモリカードをフォーマットする」(▶P.134)をご参照ください。

◎ microSDメモリカード内のデータを再生／表示する場合は、「写真やビデオを利用する」(▶P.99)をご参照ください。

◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

■ 取扱上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

- 本製品はmicroSD／microSDHCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD／microSDHCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードについて

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)を本製品にセットすることにより、データを保存／移動／コピーができます。

- あらかじめ保護カードが取り付けられています。microSDメモリカードを使用しないときは、金具のかたつきによる音の発生防止のために本製品に保護カードを取り付けてご使用ください。

※ 保護カードはmicroSDメモリカードの未使用時に取り付けるものですが、未装着による本製品への悪影響はありませんのでご安心ください。

1 microSDメモリカードを取り付ける

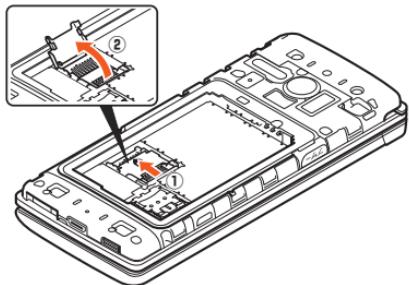
microSDメモリカードの取り付けは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す

(►P.38「電池パックを取り外す」)

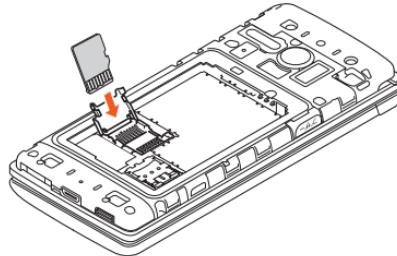
2 microSDメモリカードスロットカバーを指の腹で①の方向にスライドさせて、②の方向に持ち上げる

カバーを持ち上げる際は、本製品の金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、カバーをスライドする際に、強い力をかけないようにご注意ください(カバーが破損したり手や指を傷つけるおそれがあります)。



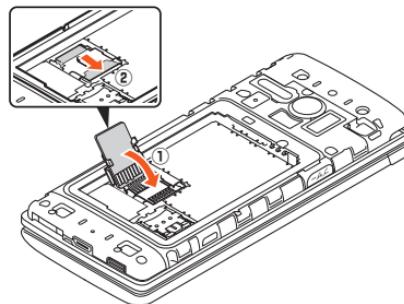
3 microSDメモリカードを矢印の方向にスライドさせ、microSDメモリカードスロットカバーに取り付ける

microSDメモリカードを差し込む向きに注意してください。



4 microSDメモリカードスロットカバーを①の方向に倒し、指の腹で②の方向にカチッと音がするまでスライドしてロックする

カバーがうまく閉じない場合は、いったんカバーを持ち上げて、microSDメモリカードが正しく奥まで差し込まれているかを確認してください。



5 電池パック・背面カバーを取り付ける

(►P.36「電池パックを取り付ける」)



memo

- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

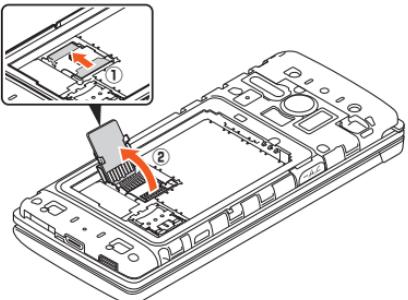
microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

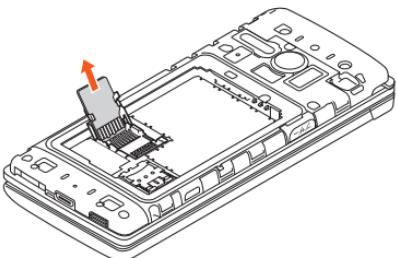
1 本製品の電源を切り、電池パックを取り外す (►P.38「電池パックを取り外す」)

2 microSDメモリカードスロットカバーを指の腹で①の方向にスライドさせて、②の方向に持ち上げる

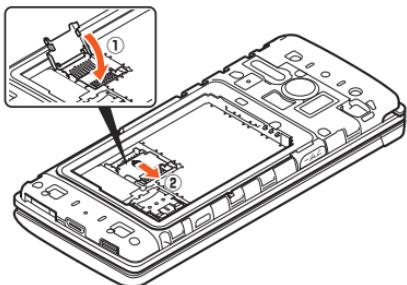
カバーを持ち上げる際は、本製品の金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、カバーをスライドする際に、強い力をかけないようにご注意ください(カバーが破損したり手や指を傷つけるおそれがあります)。



3 microSDメモリカードを矢印の方向にスライドさせ、microSDメモリカードを取り外す



4 microSDメモリカードスロットカバーを①の方向に倒し、指の腹で②の方向にカチッと音がするまでスライドしてロックする



5 電池パック・背面カバーを取り付ける (►P.36「電池パックを取り付ける」)



- ◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

microUSBケーブルでパソコンと接続する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／ビデオデータの転送も可能です。

① microUSBケーブル01(別売)を使って本製品とパソコンを接続する(▶P.44「パソコンを使って充電する」)

■ 内部ストレージやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

あらかじめパソコンと本製品を接続してください。

① パソコンから「KYF36」を開く

内部ストレージを操作する場合は、「内部ストレージ」を開いてください。

② パソコンを操作してデータを転送

③ 転送終了後、microUSBケーブル01(別売)を本製品から取り外す

microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

ストレージに関する設定をする

ストレージの設定をする

- 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[その他の設定を行う]→[データ容量を確認する]

2	端末	合計容量	内部ストレージの容量を確認します。
		空き容量	内部ストレージの空き容量を確認します。
SDカード	合計容量	microSDメモリカードの容量を確認します。	
	空き容量	microSDメモリカードの空き容量を確認します。	
	SDカードを使用する	microSDメモリカードを認識します。	
	SDカードを安全に取り外す	microSDメモリカードの認識を解除して、microSDメモリカードを安全に取り外します。	
	SDカード内データを削除	▶P.134「microSDメモリカードをフォーマットする」	

※表示される項目は、条件によって異なります。



microSDメモリカードの容量について

- ◎ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少くなります。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて削除されます。

- 1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[その他の設定を行う]
→[データ容量を確認する]→[SDカード内データを削除]
→[はい]
- ・ロックの設定によっては、ロック解除が必要な場合があります。



◎ フォーマットは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってください。

データ通信

赤外線通信	136
赤外線の利用について	136
赤外線でデータを受信する	136
赤外線でデータを送信する	137
各機能のメニューから赤外線で送信する	137
Bluetooth®機能	137
Bluetooth®機能の利用について	137
Bluetooth®を利用する	137
Bluetooth®でデータを送受信する	138
無線LAN(Wi-Fi®)機能	139
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	139
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	139

赤外線通信

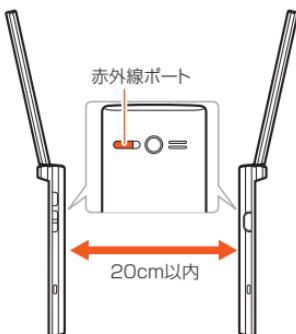
本製品と赤外線通信機能を持つ他の機器との間で、電話帳、予定、本体／microSDメモリカード内のデータなどを送受信できます。

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。

また、データの送受信が完了するまで、本製品の赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。

赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。



memo

- ◎赤外線通信中に指などで赤外線ポートを覆わないようにしてください。
- ◎本製品の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
- ◎直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- ◎赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
- ◎送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
- ◎赤外線通信中に音声着信、目覚まし時計など、他のアプリが起動した場合、赤外線通信は終了します。
- ◎著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
- ◎相手側の機器やデータの種類、容量によっては再生や登録ができない場合があります。

赤外線でデータを受信する

1 待受画面で[]→[便利な機能を使う]→[赤外線を使う]
→[赤外線で受信する]

2 受信完了→[はい]→[OK]

認証コードの入力画面が表示された場合は、認証コード(4桁)を入力
→([確定])と操作してください。
受信するデータによっては操作が異なります。
画面に従って操作してください。



- ◎データの種類、容量によっては保存できない場合があります。

赤外線でデータを送信する

1 待受画面で[メニュー]→[便利な機能を使う]→[赤外線を使う]

→[赤外線で送信する]→項目を選択→[OK]

- ・「私の情報を送る」を選択した場合は送信が開始されます。

2 画面に従って操作

認証コードの入力画面が表示された場合は、認証コード(4桁)を入力
→[電話帳](確定)と操作してください。

各機能のメニューから赤外線で送信する

電話帳の連絡先や私の情報(vCardファイル)、各種データを送信することができます。

例:連絡先を送信する場合

1 待受画面で[電話帳]→[メニュー]→[送信する]→[赤外線で送信]

1 件送信する	選択中のデータを送信します。
選択送信する	データを選択して送信します。 認証コードを入力→[電話帳](確定)
全件送信する	すべてのデータを送信します。 認証コードを入力→[電話帳](確定)

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能の利用について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。



memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。

◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®を利用する

Bluetooth®を起動する

1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[データ通信の設定をする]→[Bluetoothを設定する]

Bluetooth®画面が表示されます。

2 [Bluetoothを利用する]→[利用する]→[OK]

Bluetooth®がONに切り替わります。



memo

◎ 本製品のBluetooth®機能をONにすると、「[X]」がステータスバーに表示されます。

■ Bluetooth®画面のメニューを利用する

1 Bluetooth®画面で[メニュー]

2 更新	使用可能なデバイスを検索します。
端末名の変更	他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。
受信ファイル	受信履歴画面を表示します。
電話帳受信	他のBluetooth®機器から送信された電話帳を全件受信します。

◎ 他のBluetooth®機器からの機器検索への応答を受け付けたい場合は、「この端末の名前を変更」で設定した名前を選択してください。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手側(送信側)のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法について詳しくは、「Bluetooth®を起動する」(▶P.137)をご参照ください。

1 送信側のBluetooth®機器からデータ送信

2 ファイル着信の通知で[はい]

3 受信完了後[開く]

再生／表示／登録するアプリが複数存在する場合は、データを選択するとアプリの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。



memo

◎ 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。

Bluetooth®でデータを送信する

電話帳やプロフィール(vCard)、各種データを他のBluetooth®機器に送信できます。

例:電話帳の連絡先を送信する場合

1 待受画面で[電話帳]→[メニュー]→[送信する]→[Bluetooth送信]

2 1件送信する	選択中のデータを送信します。
選択送信する	データを選択して送信します。
全件送信する	すべてのデータを送信します。

3 送信先の機器を選択→[OK]

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi®)機器(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。

◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。

◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。

◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[データ通信の設定をする]→[Wi-Fiを設定する]
Wi-Fi®設定画面が表示されます。

2 [Wi-Fiを利用する]→[利用する]→[OK]
Wi-Fi®がONに切り替わります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[データ通信の設定をする]→[Wi-Fiを設定する]
Wi-Fi®設定画面が表示されます。

2 アクセスポイントを選択→[OK]

3 パスワードを入力→[電話帳](接続)

「パスワード表示」を「表示する」にすると、入力中のパスワードを表示できます。



- ◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- ◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用になれない場合があります。

■ アクセスポイントとの接続を切る

- 1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[データ通信の設定をする]→[Wi-Fiを設定する]
- 2 接続中のアクセスポイントを選択→[OK]→[削除する]→[OK]



- ◎ アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

■ Wi-Fi®設定画面のメニューを利用する

- 1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[データ通信の設定をする]→[Wi-Fiを設定する]
- 2 [メニュー]
 - ・[電話機]（簡単接続）を押すと、ボタン方式のWPS（Wi-Fi Protected Setup™）対応アクセスポイントを登録する事ができます。

3	追加	アクセスポイントを手動で登録します。
	保存済み一覧	保存済みのネットワークを一覧で表示します。
	詳細設定	<p>スリープの設定を行う 画面がOFFの間、Wi-Fi®の利用を停止する機能を設定します。 ※ 特別な通信時には停止しない場合もあります。</p> <p>電波が安定するときに使う 安定したインターネット接続が可能なときのみWi-Fi®を使用するかどうかを設定します。</p>

■ Wi-Fi安定制御機能を設定する

- 1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[データ通信の設定をする]→[Wi-Fiを設定する]
- 2 [メニュー]→[詳細設定]
- 3 [電波が安定するときに使う]→[設定する]→[OK]
Wi-Fi安定制御機能がONに切り替わります。



- ◎ Wi-Fi安定制御機能をONにした状態でWi-Fi®が不安定になったとき、Wi-Fi®のみに通信を制限する一部のアプリにおいても、アプリの動作仕様により、一時的に4G(LTE)データ通信を行う場合があります。
- ◎ Wi-Fi安定制御機能がONの場合、「[電波]とともに「[矢印]」が表示されるようになります。4G(LTE)でのデータ通信の有無は、「[矢印]」の矢印の有無でご確認いただけます。

auのネットワークサービス

auのネットワークサービス	142
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	142
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	142
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	145
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	146
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	146
第三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	152
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	152
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	154
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	155

auのネットワークサービス

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス	参照先
標準サービス	SMS P.87
	着信お知らせサービス P.142
	着信転送サービス P.142
	発信番号表示サービス P.145
	番号通知リクエストサービス P.146
	お留守番サービスEX P.146
有料オプションサービス*	第三者通話サービス P.152
	割込通話サービス P.152
	迷惑電話撃退サービス P.154
	通話明細分計サービス P.155

* 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。

お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客様センターまでご連絡ください。

各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ
(<https://www.au.com/>)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

■ 着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。



memo

- ◎ 「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEXの圏外転送を設定してください。(▶P.148)
- ※ 有料オプションサービスにご契約されていない場合も設定を行ってください。
- ◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合にはお知らせしません。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- ◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.147)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。

電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。



memo

- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないとされる番号には転送できません。
- ◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.146)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎ au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

- 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[無応答転送の設定を行う]→[無応答転送を設定する]

- [転送する]→[転送時間を設定する]→転送時間を設定

→[OK]

- ・転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。
- ・「転送しない」を選択すると、転送サービスを停止できます。

- [転送先番号を設定する]→転送先番号を入力→[電話帳(保存)]→[電話帳(登録)]→[OK]



◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[話中転送の設定を行う]→[話中転送を設定する]

- [転送する]→[転送先番号を設定する]→転送先番号を入力→[電話帳(保存)]→[電話帳(登録)]→[OK]
・「転送しない」を選択すると、転送サービスを停止できます。



◎話中転送と割込通話サービス(▶P.152)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに電話を転送します。

- 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[圏外転送の設定を行う]→[圏外転送を設定する]

- [転送する]→[転送先番号を設定する]→転送先番号を入力→[電話帳(保存)]→[電話帳(登録)]
・「転送しない」を選択すると、転送サービスを停止できます。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

- 1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[選択転送の設定を行う]→[選択転送を設定する]
- 2 [転送する]→[転送先番号を設定する]→転送先番号を入力→[電話帳(保存)]→[電話帳(登録)]→[OK]



◎ 着信中に転送操作をすると、転送先電話番号に転送します(▶P.65)。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[全転送の設定を行う]→[全転送を設定する]
- 2 [転送する]→[転送先番号を設定する]→転送先番号を入力→[電話帳(保存)]→[電話帳(登録)]→[OK]
 - ・「転送しない」を選択すると、転送サービスを停止できます。



◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

- 1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

- 2 ご利用の本製品の電話番号を入力

- 3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.30)をご参照ください。

- 4 ガイダンスに従って操作



- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、ブッシュトーンを使用します。ブッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。



- ◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
- ◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がメインディスプレイに表示されます。

また、相手の方を電話帳に登録していない場合は、本製品を閉じた状態時のサブディスプレイにも電話番号が表示されます。

表示	説明
「非通知設定」	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。

表示	説明
「通知不可能」	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

■電話番号を通知する

- 1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]
- 2 [発信者番号通知を許可する]→[通知する]→[OK]



- ◎ 電話をかけるときは、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知を許可する」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- ◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知を許可する」をオンにしていると相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- ◎ 「発信者番号通知を許可する」を「通知しない」に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。



◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。

◎お留守番サービス(▶P.146)、着信転送サービス(▶P.142)、割込通話サービス(▶P.152)、三者通話サービス(▶P.152)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。

◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.154)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 待受画面で1 4 8 0

待受画面で[1]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[番号通知リクエストサービスを設定]→[利用する]→[OK]と操作しても開始できます。

2 曰



◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかげ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。

◎次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。

- ・公衆電話、国際電話
- ・SMS
- ・その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 待受画面で1 4 8 0

待受画面で[1]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[番号通知リクエストサービスを設定]→[利用しない]→[OK]と操作しても停止できます。

2 曰

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

■ お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.126)を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- ・お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.146)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.149)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

■お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 待受画面で①④①②

2 ガイダンスに従って操作

■応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

1 待受画面で②→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[無応答転送の設定を行う]→[無応答転送を設定する]

2 [auお留守番]→[転送時間を設定する]→転送時間を設定
→電話帳(登録)

- ・転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。
- ・「転送しない」を選択すると、転送サービスを停止できます。

3 [OK]



◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[話中転送の設定を行う]→[話中転送を設定する]

2 [auお留守番]→[電話帳](登録)

・「転送しない」を選択すると、転送サービスを停止できます。

3 [OK]



◎ 話中転送と割込通話サービス(▶P.152)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに、電話お留守番電話サービスに転送します。

- 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[圏外転送の設定を行う]→[圏外転送を設定する]

2 [auお留守番]→[電話帳](登録)

・「転送しない」を選択すると、転送サービスを停止できます。

3 [OK]

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で留守番電話サービスに転送します。

- 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[選択転送の設定を行う]→[選択転送を設定する]

2 [auお留守番]→[電話帳](登録)

3 [OK]



◎ 着信中に転送操作をすると、留守番電話サービスに転送します(▶P.65)。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[全転送の設定を行う]→[全転送を設定する]

2 [auお留守番]→[電話帳](登録)

・「転送しない」を選択すると転送サービスを停止できます。

3 [OK]



◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

■電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

- かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します
(▶P.150「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)。
- 電話をかけてきた相手の方は①を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作②に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、①を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作③へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 ④を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。

- ①: 録音した伝言を再生して、内容を確認する
- ②: 録音した伝言を「至急扱い」にする
- ⑨: 録音した伝言を消去して、取り消す
- ※: 録音した伝言を消去して、録音し直す

4 ④



- 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
- お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

■ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 待受画面で①⑥①②+相手の方のau電話番号を入力

→④

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

■伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたこととSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。



- 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
- お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
- 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- 通話中などすぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

■伝言・ボイスメールを聞く

1 待受画面で①④①⑦④

待受画面で④→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[auお留守番にかける]→[はい]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

- ①:同じ伝言をもう一度聞く
 - ④:5秒間巻き戻して聞き直す
 - ⑤:伝言を一時停止(20秒間)※
 - ⑥:5秒間早送りして聞く
 - ⑦:再生済みの伝言をすべて消去
 - ⑨:伝言を消去
 - ⑩:伝言再生中の操作方法を聞く
 - ⑪:次の伝言を聞く
 - ⑫:前の伝言を聞く
- ※ ⑩～⑨、⑪、⑫などのいずれかのキーを押すと、伝言の再生を再開します。

3 □



お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール
(▶P.149)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容の確認／変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]

2 [通話サービスの設定を行う]→[着信転送・お留守番を選ぶ]→[応答内容を変更する]→[はい]
待受画面で①④①④□を押しても設定できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

3 ①→①→3分以内で応答メッセージを録音
→□→□→□→□

■ 電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

3 ①→②→10秒以内で名前を録音→□→□→□

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

3 ③→応答メッセージを確認→□

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

3 ①→③→3分以内で応答メッセージを録音
→□→□→□→□



memo

- 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定で、スキップができないように設定することができます。
- 録音した応答メッセージがある場合に、ガイドンスに従って②→①を入力すると標準メッセージに戻すことができます。
- 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイドンスに従って①→④を入力すると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。

詳しくは「応答メッセージの録音／確認／変更をする」(▶P.150)をご参照ください。

1 待受画面で①⑥①①①①□

2 ガイダンスを確認→□



- ◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- ◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

■ 伝言の蓄積停止を解除する

- 1** 待受画面で **1 6 1 1 0**
- 2** ガイダンスを確認→**□**



- ◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

■ お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

■ 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(無条件)開始	1418
留守番転送設定(無条件)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

■ ご利用の本製品の電話番号を入力

■ 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.30)をご参照ください。

■ ガイダンスに従って操作



- ◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎遠隔操作には、ブッシュトーンを使用します。ブッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

■ 英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

- 1** 待受画面で**[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]**

- 2** **[通話サービスの設定を行う]→[ガイダンスの言語を選ぶ]→[英語ガイダンスを選ぶ]→[はい]**

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
待受画面で**1 4 1 9 1 0**を押しても切り替えることができます。

- 3** **□**



ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

■ 日本語ガイダンスへ切り替える

1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]

2 [通話サービスの設定を行う]→[ガイダンスの言語を選ぶ]→[日本語ガイダンスを選ぶ]→[はい]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
待受画面で[1][4][1][9][0][0]を押しても切り替えることができます。

3 □

■ 三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

2 □／OK(発信)

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、□を押すとAさんとの通話を戻ります。
□を押すたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。

4 [メニュー]→[三者通話開始]

3人で通話できます。

□を押すと、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

- ◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- ◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- ◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- ◎ 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

■ 割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

- ◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

■割込通話サービスを開始する

1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]

2 [割込通話を利用する]→[利用する]→[OK]

待受画面で①④⑤⑩を押しても開始できます。



- ◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.146)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.154)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■割込通話サービスを停止する

1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[通話の機能を設定する]→[通話サービスの設定を行う]

2 [割込通話を利用する]→[利用しない]→[OK]

待受画面で①④⑤⑩を押しても停止できます。



- ◎ 4G(LTE)データ通信中は、割込通話サービスを停止しても着信します。

■割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 ☐/OK(応答)

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。

☐を押すたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。



- ◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
- ◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 待受画面で 1 4 4 2 □

待受画面で [□] → [設定を行う] → [通話の機能を設定する] → [通話サービスの設定を行う] → [迷惑電話撃退サービスを設定] → [メニュー] → [登録する] → [最新着信番号] → [はい] と操作しても登録できます。

2 □

指定の電話番号を登録する

1 待受画面で [メニュー] → [設定を行う] → [通話の機能を設定する] → [通話サービスの設定を行う] → [迷惑電話撃退サービスを設定]

2 [メニュー] → [登録する] → [電話番号入力] → 撃退する電話番号を入力 → [電話帳(保存)] → [OK]



- ◎ 登録できる電話番号は30件までです。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
- ◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかげになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - SMS

登録した電話番号を全件削除する

1 待受画面で 1 4 4 9 □

2 □

指定の電話番号を削除／編集する

1 待受画面で [メニュー] → [設定を行う] → [通話の機能を設定する] → [通話サービスの設定を行う] → [迷惑電話撃退サービスを設定]

2 削除する電話番号を選択 → [メニュー] → [削除する] → [はい] → [OK]

編集する場合は、編集する電話番号を選択 → [メニュー] → [編集する] と操作し、電話番号を設定してください。

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

1 待受画面で①③①+相手先電話番号を入力→□

2 □



- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

付録・索引

付録.....	158
ソフトウェアを更新する	158
故障とお考えになる前に	158
アフターサービスについて	160
SIMロック解除.....	163
周辺機器	163
microUSBイヤホンを使用する.....	164
主な仕様.....	165
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	166
知的財産権について	167
OpenSSL License.....	170
索引.....	171

付録

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ご利用上の注意

- ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどお客様にて案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ・更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。
- ・ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ・十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- ・電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。

■ ソフトウェアをダウンロードして更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

1 待受画面で[メニュー]→[設定を行う]→[その他の設定を行う]
→[アップデートする]

2 [ソフトウェアを更新する]

以降は、画面に従って操作してください。



memo

◎ ソフトウェア更新後に元のバージョンに戻すことはできません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源スイッチを「入」方向にスライドしても電源が入りない	電池パックは充電されていますか？ 電池パックは正しく取り付けられていますか？ 電池パックの端子が汚れていませんか？	P.41 P.36 P.36
充電ができない	指定の充電用機器(別売)は正しく接続されていますか？ 電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.42 P.36
	本体または電池温度が高温または低温になってしまいか？温度によって充電を停止する場合があります。	P.21
電源が勝手に切れる	卓上ホルダ(KYF36PUA)や充電端子などが汚れていますか？	P.43
	電池パックは十分に充電されていますか？	P.41

こんなときは	ご確認ください	参照
電源起動時の ロゴ表示中に 電源が切れる	電池パックは十分に充電されていますか？	P.41
電話がかけら れない	電源は入っていますか？	P.44
	正しいau ICカードが挿入されていますか？	P.39
	電話番号が間違っていませんか？ (市外局番から入力していますか？)	P.62
	電話番号入力後、□を押していますか？	P.62
	機内モードが設定されていませんか？	P.126
電話がかかっ てこない	電波は十分に届いていますか？	P.46
	サービスエリア外にいませんか？	P.46
	電源は入っていますか？	P.44
	正しいau ICカードが挿入されていますか？	P.39
	着信拒否が設定されていませんか？	P.67
	機内モードが設定されていませんか？	P.126
	着信転送サービスが設定されていますか？	P.142
「■」(圏外)が 表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.46
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.34
	正しいau ICカード以外のカードが挿入されていますか？	P.38
ディスプレ イ／充電／通 知ランプは点 灯／点滅する が着信音が鳴 らない	着信音量が最小に設定されていますか？	P.64
	マナーモードに設定されていますか？	P.124

こんなときは	ご確認ください	参照
キーの操作が できない	電源は入っていますか？	P.44
	ロックが設定されていませんか？	P.122
	電源を切り、もう一度電源を入れてください。	P.44
ポインターが 意図した通り に動作しない	ポインターの正しい操作方法をご確認ください。	P.52
	本製品を閉じ、もう一度開いてください。	—
	電源を切り、もう一度電源を入れてください。	P.44
「■」が表示さ れる	正しいau ICカードが挿入されていますか？	P.39
充電してくだ さいなどと表 示された	電池残量がほとんどありません。	P.41
電話が勝手に 応答する	留守電メモが設定されていませんか？	P.66
電池パックを 利用できる時 間が短い	十分に充電されていますか？ ・赤色の充電／通知ランプが消灯するまで、充電してください。	P.41
	電池パックが寿命となっていますか？	P.41
「■」(圏外)が 表示される場 所での使 用が多くありま せんか？	「■」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.46
電話をかけた ときに受話部 (レシーバー) から「ブーッ、 ブーッ、 ブーッ…」と 音がしてつな がらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.46
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	—

こんなときは	ご確認ください	参照
ディスプレイの照明がすぐ消える	画面の点灯時間が短く設定されていますか？	P.122
	エコモード設定時、画面の点灯時間が「15秒」へ設定されます。	P.126
画面照明が暗い	画面の明るさが暗く設定されていますか？	P.122
	本体または電池温度が高温になってしまいませんか？	—
	エコモード設定時、画面の明るさが暗く設定されます。	P.126
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていますか？	P.62
	受話部(レシーバー)が耳に当たるようにしてください。	P.36
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？	P.164
	外部接続端子の奥までしっかりと挿してください。	
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定はONになりません。	—
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていますか？	P.70
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.131
	microSDメモリカードのマウントが解除されていますか？	P.133
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていますか？	P.41
	本体または電池温度が高温になってしまいませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.21

こんなときは	ご確認ください	参照
ワンタッチキーに登録した相手に歩数と充電状況のメールが届かない	相手のメールアドレスがワンタッチキー上に正しく登録されていますか？	P.116
	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.46
	電源は入っていますか？	P.44

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。



◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 電池パックは、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

- 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
- 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります)
 - 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。
また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
- 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
- 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
- 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
- 出張による修理対応はお受けできません。
- 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

* 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただきか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。



- ◎ 入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ 退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au電話を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する故障紛失サポートは自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容			故障紛失サポート	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金の表を参照	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料(3年間保証)	実費負担
	部分破損		お客様負担額上限5,000円	
	水濡れ・全損		お客様負担額10,000円	
盗難・紛失		補償なし (機種変更対応)		

※ 金額はすべて税抜

■ 「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円／ 長期ご利用特典※1 3,000円	8,000円／ 長期ご利用特典※1 6,000円
「WEB割引」※2／「代用機なし割引」※3の両方を適用	4,000円／ 長期ご利用特典※1 2,000円	7,000円／ 長期ご利用特典※1 5,000円
「代用機なし割引」※3のみを適用	4,500円／ 長期ご利用特典※1 2,500円	7,500円／ 長期ご利用特典※1 5,500円

※ 金額はすべて税抜

※1 3年目(25ヵ月)以上ご利用のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末・タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。

※2 WEB割引:auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

「WEB割引」の場合は代用機の貸出はできませんので、自動的に「代用機なし割引」があわせて適用されます。

※3 代用機なし割引:「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

詳細はauホームページでご確認ください。

オンライン交換受付(24時間受付)

※ パソコン、スマートフォンからのみ受付可能

<https://www.au.com/support/service/mobile/trouble/repair/application/>



交換用携帯電話機お届けサービス

- ◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色※)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
- ※ 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。

- ◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
- ※ 詳細はauホームページでご確認ください。
- ◎ 盗難・紛失など、本サービスのご利用と同時にau ICカードの再発行を伴う場合は、別途au ICカード再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

- ◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- ◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

SIMロック解除

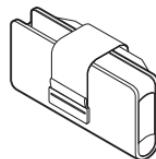
本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、待受画面で[OK]→[設定を行う]→[その他の設定を行う]→[端末の情報を表示する]→[端末の状態]→[SIMのステータス]から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

- 電池パック(KYF36UAA)
- 卓上ホルダ(KYF36PUA)
- 背面カバー(ゴールド)(KYF36TNA)
背面カバー(ピンク)(KYF36TPA)
背面カバー(グリーン)(KYF36TGA)
- テレビde写真受信機(0603RKA)(別売)
- auキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)
auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)
auキャリングケースHブラック(0107FCA)(別売)



auキャリングケースFブラック

- 共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)
共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)
共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)
共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)
共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)
共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)(別売)
AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N)(別売)
- ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)

- microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)
microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)
- microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)
- microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)
- microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)
- 平型-microUSB変換アダプタ01(0301QXA)(別売)
- 3.5φ-microUSB変換アダプタ01(0301QNA)(別売)
- microUSBモノラルイヤホン01(0301QLA)(別売)
- microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(0301QVA)(別売)



◎周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
<http://onlineshop.au.com>

microUSBイヤホンを使用する

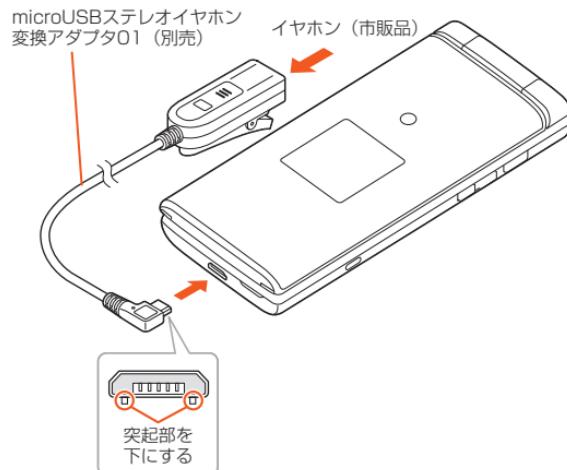
■ microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)でイヤホン(市販品)を使用する

イヤホン(市販品)をmicroUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)に接続すると、アダプタのスイッチを利用したイヤホン通話をご利用いただけます。

1 microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)にイヤホン(市販品)を接続する

2 本製品にmicroUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)を接続する

microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)のコネクタを、先端の形状を確認してまっすぐになるように差し込みます。



■ microUSBモノラルイヤホン01(別売)を使用する

microUSBモノラルイヤホン01(別売)を本製品と直接接続して、イヤホンのスイッチを利用したイヤホン通話をご利用いただけます。

1 本製品にmicroUSBモノラルイヤホン01(別売)を接続する

microUSBモノラルイヤホン01(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込みます。



- ◎ イヤホン(市販品)によっては、microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)に接続できない場合があります。
- ◎ microUSBモノラルイヤホン01(別売)のお問い合わせは、auホームページ(<https://www.au.com/>)をご確認ください。

【電話を受ける】

1 着信中にmicroUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)／microUSBモノラルイヤホン01(別売)のスイッチを押す

- ・着信中にmicroUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)／microUSBモノラルイヤホン01(別売)のスイッチを1秒以上長押しすると、着信拒否します。

2 通話を終了するときは、microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)／microUSBモノラルイヤホン01(別売)のスイッチを1秒以上長く押す

主な仕様

■ 本体

ディスプレイ	約3.4インチ、約1,677万色、TFT全透過型 854×480ドット(FWVGA)	
サブディスプレイ	約1.4インチ、モノクロ、STN半透過型 96×96ドット	
質量	約142g(電池パック含む)	
充電時間(目安)	約120分(共通ACアダプタ05(別売)使用時)	
連続通話時間	約590分	
連続待受時間	約440時間	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約51×115×17.9mm	
内蔵メモリ容量	ROM:約8GB RAM:約1GB	
カメラ有効画素数	約800万画素	
カメラ撮影素子	CMOS	
無線LAN(Wi-Fi®)機能	IEEE802.11b/g/n準拠	
Bluetooth®機能	対応バージョン 出力 通信距離※2 対応プロファイル・機能※3	Bluetooth®標準規格Ver.4.1準拠※1 Class1 10m GATT(Generic Attribute Profile) SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile)

Bluetooth®機能	対応プロファイル・機能※3	HFP(Hands-Free Profile)
		OPP(Object Push Profile)
		PBAP(Phone Book Access Profile)
		PAN(Personal Area Networking Profile)
		PAN USER(Personal Area Networking-User)
		DUN(Dial-Up Networking Profile)※4
	使用周波数帯	2.4GHz帯

※1 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※3 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことと、Bluetooth®標準規格で定められています。

※4 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

■ 頂上ホルダ(KYF36PUA)

入力	DC5.0V、1.8A
出力	DC5.0V、1.8A
質量	約75.5g
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約84×49.5×58mm

■ 電池パック(KYF36UAA)

電池種類	リチウムイオン電池
定格	3.8V、1,500mAh
質量	約26g
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約36×57.1×5.5mm



- 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種KYF36の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.516W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.440W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることがありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

○auのホームページ

<https://www.au.com/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows®7／Windows®8／Windows®8.1／Windows®10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setup ロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

LINEは、LINE株式会社の商標または登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。

iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2017 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM).

(1)ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。

(2)本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本製品には赤外線通信機能としてイーグローバレッジ株式会社のDeepCore®3.0 Plusを搭載しています。

Copyright © 2013 E-Globaledge Corp. All Rights Reserved.

「スマートソニックレシーバー」、「毎日歩数通知」は京セラ株式会社の登録商標です。

本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。

本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

シーン検出技術には株式会社モルフォの「PhotoScouter」を採用しております。

「PhotoScouter」は株式会社モルフォの登録商標です。

ハローページはNTTの登録商標です。

どこから電話はソースネクストの商標です。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。

(a)ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。

(b)法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。

(c)ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの默示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末の情報を表示する」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計・開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しております、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で領布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。

また米国政府機関が定める米国輸出規制(Export Administration Regulations、およびその他の関連法令)、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を直接的、または間接的に問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客様のご協力ををお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客様の端末の故障診断および使用状況データ(お客様によるアプリの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客様によるアプリの使用に関する詳細情報(特定の機能、使用頻度、メモリ/電池の使用状況))を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際に、お客様の同意のうえ収集することがあります。

OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

記号／数字／アルファベット

au ICカード	38
取り付け	39
取り外し	40
au ICカードスロット	35
au ID設定	122
au国際電話サービス	64
auスマートパス	106
auナビウォーム	107
auネットワークサービス	142
英語ガイドンス	151
遠隔操作サービス	144, 151
応答メッセージ	150
お留守番サービスEX	146
お留守番サービス総合案内	147
国外転送	143
三者通話サービス	152
選択転送	144
蓄積停止	150
着信お知らせサービス	142
着信転送サービス	142
通話明細分計サービス	155
伝言お知らせ	149
伝言録音	149
日本語ガイドンス	152
発信番号表示サービス	145
番号通知リクエストサービス	146
フル転送	144
ボイスメール	149
無応答転送	143
迷惑電話撃退サービス	154
話中転送	143
割込通話応答	153
割込通話サービス	152

auのサービス	104
auスマートサポート	
Bluetooth®機能	
注意	29
Eメール	
Eメールアドレスの変更	83
検索	81
設定	82
添付	78
迷惑メールフィルター	84
microSDメモリカード	
SDカード内データを消去	134
取り付け	131
取り外し	132
microSDメモリカードスロット	35
microUSBケーブル	133
PINコード	30
変更	127
PINロック解除コード	30
SAR	166
SMS(Cメール)	
SMSセンター	87
検索	89
削除	89
作成	87
受信	88
受信拒否	90
設定	89
送信	87
転送	88
返信	88
Wi-Fi®	
注意	29

あ

アフターサービス	160
アンテナ部	

内蔵GPS／Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ部	35
内蔵サブアンテナ部	35
位置検索サポート	107
位置情報の設定	127
インターネット	92
エアペント	35
エコモード	126
音の設定	
マナーモード	124
音・バイブ・ランプの設定	123
音楽再生	119
音声読み上げ	114
音声レコーダー	113
音量	123
音量上／下キー	35

か

外部接続端子	35
拡大鏡	98
各部の名称と機能	34
カメラ	96
画面の見かた	97
写真撮影	98
設定	97
セルフタイマー	97
ビデオ撮影	98
カメラ／下キー	35
画面を設定	
画面の明るさ	122
文字の大きさ	122
カレンダー	111
作成	111
メニュー	111
簡易ライト	35, 110
漢字チェック	113
キー操作	51
機内モード	126

緊急ブザー	115
緊急ブザーキー	35
携帯電話機の比吸収率(SAR)	166
故障とお考えになる前に	158

さ

撮影ライト	35
サブディスプレイ	35
サブディスプレイの見かた	47
自分の電話番号(私の情報)	65
充電	41
充電端子	35
充電／通知ランプ	35
周辺機器	163
終話キー	35
受話部	34
仕様	165
初期化	127
スクリーンショット	110
ステータスアイコン	46
ストラップ取付部	35
ストレージの設定	133
スピーカー	35
スマートソニックレシーバー	36
赤外線通信	136
受信	136
送信	137
認証コード	136
赤外線ポート	35
センターキー	35
送話口	35
ソフトウェア更新	
更新	158
ご利用上の注意	158

た

ダイヤルキー	35
端末情報	128
着信音	123
着信拒否	67
着信中のメニュー	65
着信履歴	63
着信履歴／左キー	35
通話録音	62
データ通信	92
テレビde写真	108
テレビde写真キー	35
電源スイッチ	35
電源を入れる	44
電源を切る	44
電卓	112
電池パック	35
取り付け	36
取り外し	38
電話	
受ける	64
かける	62
設定	66
転送	65
留守電メモ応答	65
電話帳	
削除	71
登録	70
編集	71
電話帳キー	35
取り扱い上での注意	21

は

バーコードリーダー	99
背面カバー	35
発信キー	35

発信履歴	63
発信履歴／右キー	35
光センサー	34
日付と時刻	128
表記方法	1
ポインター	52
歩数計	118

ま

マイク	35
待受画面	46
マナーモード	124
メインディスプレイ	34
メインメニュー	48
メール	
Eメール	74
SMS	87
メール／上キー	35
目覚まし時計	
繰り返し	112
設定	112
メニューキー	35
メモ帳	110
文字入力	56
縦文字入力	58
顔文字入力	58
記号入力	58
コピー	59
デコレーション絵文字入力	58
貼り付け	59
戻る／メモキー	35

や

読み上げキー	35
--------	----

ら

留守電メモ	65, 67
レシーバー	34
レンズ部	35

わ

ワンタッチキー	34, 116
---------------	---------

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について(通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話からは

F 0077-7-111

フリーコール

au電話からは

局番なしの**157**番

Pressing "zero" will connect you to an operator,
after calling "157" on your au cellphone.

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

F 0120-977-033 (沖縄を除く地域)

フリーコール

F 0120-977-699 (沖縄)

フリーコール

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて(通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

一般電話からは

F 0077-7-113

フリーコール

au電話からは

局番なしの**113**番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

F 0120-925-314

フリーコール

故障紛失サポートセンター

紛失・盗難・故障について(通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話／au電話から

F 0120-925-919

フリーコール



濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず②マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元：京セラ株式会社

2017年7月第1版

KTEA17NAXX-0717SZ

■LINEアプリのプッシュ通知機能停止のお知らせ

LINE社におきまして、当機種のLINEアプリサービスのプッシュ通知機能を2020年3月31日以降に停止されます。

プッシュ通知機能の停止後は、LINEアプリを起動していない間に受け取ったメッセージの通知、および無料通話の着信通知が受け取れなくなります。アプリを起動すると、メッセージ受信や着信履歴を確認できます。

以上

2020年2月28日